

## Ⅱ 「発展的な学習を推進するための指導資料」小学校編における事例

### 第5学年・第6学年における発展的な学習に関する指導内容

#### 1 国語

- ・ インタビュー名人になろう（第5学年）
- ・ パネルディスカッションをしよう（第6学年）
- ・ 計画的に話し合おう（第6学年）
- ・ 意見文を書こう（第5学年）
- ・ 筆者の考えを読み取り、自分の考えをもとう（第5学年）
- ・ 作品の世界をより深く読み味わおう（第6学年）

#### 2 社会

- ・ 自動車づくりに情熱をかけた人に学ぼう（第5学年）
- ・ 地デジで生活がどう変わっていくのか調べよう（第5学年）
- ・ 食文化からみた文明開化について調べよう（第6学年）
- ・ 裁判員制度を模擬体験しよう（第6学年）
- ・ 裁判員制度のひみつをさがれ（第6学年）

#### 3 算数

- ・ 分数魔方陣を作ろう（第5学年）
- ・ 面積を求めよう（第5学年）
- ・ 変わり方を調べよう（第5学年）
- ・ バウムクーヘンの体積を求めよう（第6学年）
- ・ 雪の結晶を作ろう（第6学年）
- ・ 数当てゲームのきまりを見付けよう（第6学年）
- ・ ミニ事例集1～6

#### 4 理科

- ・ 電磁石を活用しよう（第5学年）
- ・ 天気の変化と空気のしめり具合を調べよう（第5学年）
- ・ 月観察早見盤を作って、月の観察に役立てよう（第6学年）
- ・ 新しい道具をデザインしよう（第6学年）

# 1 国語科における発展的な学習に関する考え方

国語科においては、国語科の学習の特性を踏まえ、発展的な学習に関する指導資料を開発した。

国語科の学習の特性の一つとして、右の図①のように、指導内容が螺旋的・反復的に繰り返しながら発展していくことが挙げられる。また、学習評価の観点から、学習指導要領に示されている領域ごとに設定されている。これらのことを踏まえ、国語科では、学習指導要領に示されている領域ごとに発展的な学習に関する指導資料の開発を進めた。

次に、右の図②のように教材と言語活動の関係から発展させる内容を検討し、教材と言語活動との関係を整理した。国語科においては、教材に発展的な内容が含まれることで学習内容が発展的な場合がある。また、教材の内容は発展しない場合でも、言語活動が複雑化することで学習内容が発展的な場合も考えられる。

これらの国語科の特性を踏まえ、発展的な教材・指導法の開発を行った。

## ○ 国語科において開発した発展的な学習に関する指導資料

国語科において開発した発展的な学習に関する指導資料は、次の6単元である。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ① インタビューをする単元      | 〔領域：「話すこと・聞くこと」〕 |
| ② パネルディスカッションをする単元 | 〔領域：「話すこと・聞くこと」〕 |
| ③ 計画的な話し合いをする単元    | 〔領域：「話すこと・聞くこと」〕 |
| ④ 意見文を書く単元         | 〔領域：「書くこと」〕      |
| ⑤ 比べ読みをする単元        | 〔領域：「読むこと」〕      |
| ⑥ 重ね読みをする単元        | 〔領域：「読むこと」〕      |

## ○ 指導計画の位置付け

国語科において開発した発展的な学習に関する指導資料を指導計画上の位置付けで分類すると次のようになる。

1 単元の指導計画の過程（途中）に位置付けるもの。

- ① インタビュー      ② パネルディスカッション      ③ 計画的な話し合い

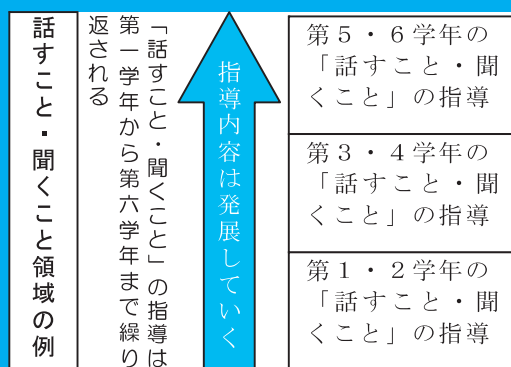
2 単元の指導計画の終末に位置付けるもの。

- ④ 意見文      ⑤ 比べ読み

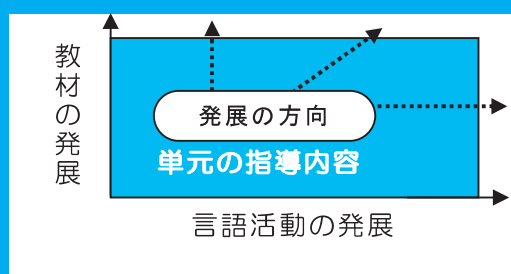
3 指導計画外の特設された時間を活用するもの。

- ⑥ 重ね読み

図① 国語科の学習の特質



図② 教材と言語活動との関係について



## 2 開発した発展的な学習の概要

### ① インタビュー名人になろう（P. 11）

インタビュー活動の中で、通常のインタビューの学習を行った後、自分の課題を解決するために、自分の考えを確かめる問いかけと予想される返答を考えさせる。予想される返答から前もって掘り下げる質問を検討させ、自分の考えの根拠となる発言を得られるようにする単元。

### ② パネルディスカッションをしよう（P. 17）

パネルディスカッションの活動の中で、相手の意見とその根拠を聞き取る指導を行う。相手の主張の理由と根拠を聞き取り、メモで図式化させ、相手の論の展開や意見の妥当性を検討した上で、賛成できるかどうかを判断できるようにする単元。

### ③ 計画的に話し合おう（P. 23）

事象の原因と結果を分析し、その解決策を検討する「話し合うこと」の指導を行う。よりよい解決策を計画的に検討するために、話合いのモデルを提示し、原因に関わる複数の要素を検討させる。自分の意見とその理由及び論拠を明確にして話し合うことができるようにする単元。

### ④ 意見文を書こう（P. 30）

意見文の書き方として、頭括型、尾括型、双括型の書き方があることを知り、自分で型を選択して意見文を書く。さらに、自分の書いた意見文の型と異なる型で意見文を書き、比較して表現の効果を検討し、効果的に主張できるようにする単元。

### ⑤ 筆者の考えを読み取り、自分の考えをもとう（P. 35）

「森林のおくりもの」と「森は生きている」を読み比べ、筆者の主張を捉える。その上で、複数の関係図書資料を提示し、そこから得た情報と筆者の主張を関連付けて読み取り、自分の考えを明確にもつことができるようにする単元。

### ⑥ 作品の世界をより深く読み味わおう（P. 43）

宮沢賢治の「やまなし」を読み、宮沢賢治の考え方や生き方について考える。共通する描写や叙述に着目しながら、「やまなし」と「永訣の朝」「グスコーブドリの伝記」とを読み比べ、宮沢賢治の価値観を知り、自分の生き方を見つめる単元。

## 第5学年 単元「インタビュー名人になろう」(話すこと・聞くこと) 『住民の声』を生かして、よりよいまちづくりのアイデアを主張しよう

### 1 事例の概要(7時間扱い)

#### (1) 単元について

中学年でのインタビュー学習では、主に知りたいことを教わることが活動の目的であった。それを受けて、本単元では、自分の考えを裏付ける「住民の声」を引き出すことに活動の目的を設定する。そうすることで、必然的に、自分の求める内容を話してくれる相手を選び、深く聞き出すための質問を吟味することとなるからである。深く聞き出すためには、相手の回答を受けてつないでいくような質問をしていくことが大切である。そのための計画の方法を学習する。

#### (2) 発展的な学習について

発展的な学習については、次の2点のように考えた。

- ・ 中心となる質問を柱とし、それらを深める質問を考え、インタビューを掘り下げる計画を立てることについては、全児童に求めている。
- ・ 相手の立場を踏まえて、どのような答えを返してくるかを予想してインタビューの計画を立てることを発展的な学習とする。(相手意識を高める)

### 2 指導計画の位置付け( は発展的な学習に関わる時間)

(1) よりよいまちづくりについて、自分の考えをもつ。(1時間)

(2) インタビューの方法を学び、計画を立てる。(2時間)

Aコース 相手の回答を予想して、掘り下げる質問を考える：発展的な学習の事例

Bコース フローチャートを使って、掘り下げる質問を考える

(3) インタビューをする。(1時間)

(4) 聞き出した情報を整理し、引用しながら自分の考えをまとめる。(2時間)

(5) 自分の考えを発表し合う。(1時間)

### 3 目 標

- 計画的にインタビューをし、必要な情報を掘り下げて聞くことができる。
- インタビューを通して得た情報を引用し、自分の考えを発信することができる。

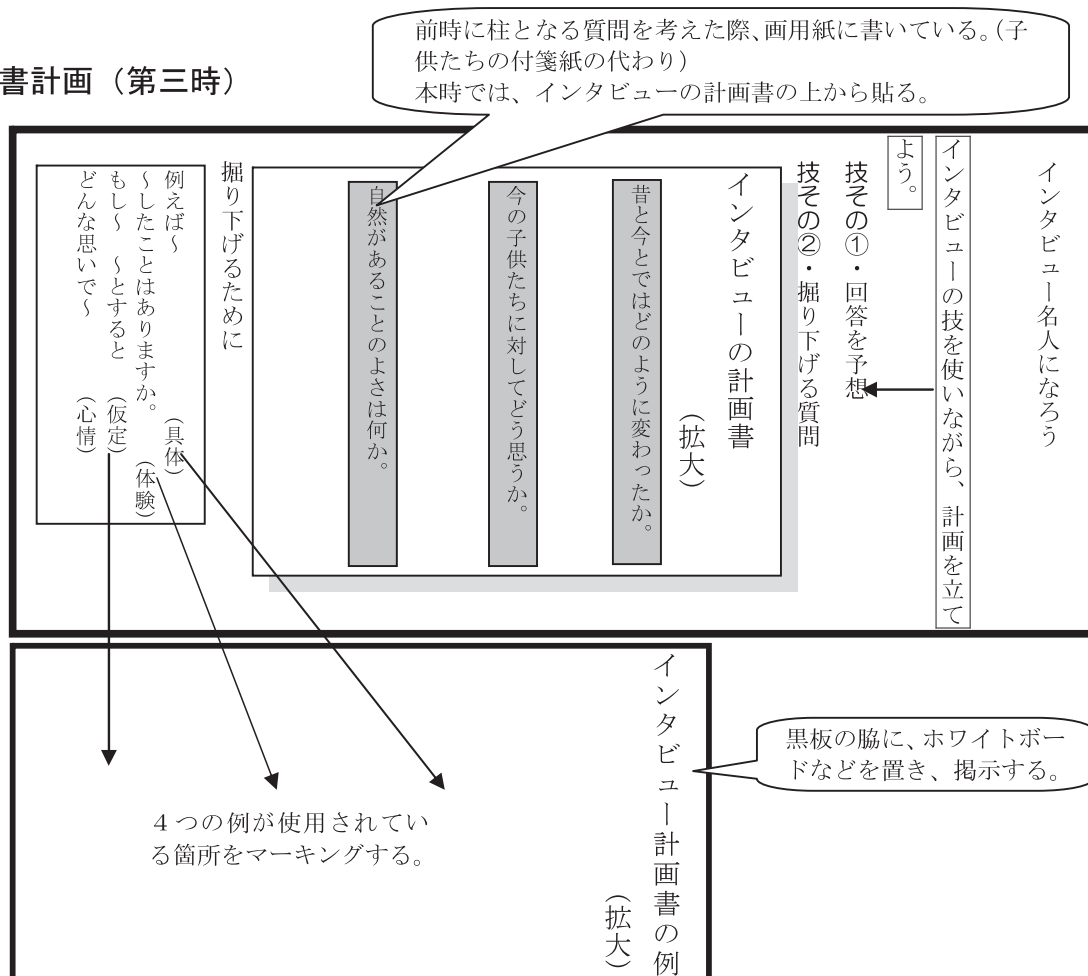
#### 4 学習活動の展開 ( ) は発展的な学習に関わる時間)

|                        | ○学習内容・学習活動                                                                                                                                                                                  | 指導上の留意点<br>★指導事項                                                                                                             | 資料等          | 評価[方法]                                           |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------------------------------------------|
| 第一時                    | ①このまちのいいところや課題に感じているところを出し合う。<br>②このまちをさらによくするにはどうしたらよいか自分の考えを書く。<br>③自分の主張する考えを支える材料として、「インタビューによる住民の声」を用いるという学習の全体の流れを理解する。                                                               | ・3年生の教室から資料を借りて、まちのいろいろな場所や施設の写真、安全マップなどを示し、まちに対する意識を高める。<br>★まちの改善について自分の考えをもつこと。                                           |              | ◆自分の考えをもち、学習に挑もうとしている。<br>(関心・意欲・態度)<br>[ノート・発言] |
| 第二時 (Aコース)             | ①自分の考えと似た思いをもつ人物を考え、インタビューの相手に設定する。<br>②質問を3つ程度考え、付箋紙に書く。                                                                                                                                   | ・前時までに自分の考えをしっかりとつことができるようにする。<br>・自分の考えを裏付ける情報を引き出すという目的を確認する。                                                              | ・ワークシート      |                                                  |
| より深く聞き出せるインタビューの技を学ぼう  |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                              |              |                                                  |
|                        | ③ワークシートを基に、どのようにインタビューすればよいか理解する。<br>T：ワークシートは、名人の計画書と実際のインタビューが書かれています。これまで自分が行ってきたインタビューにはなかったことやコツだと思うことを見付けましょう。<br>C：柱となる質問と掘り下げる質問とがあるよ。<br>C：答えを受けて質問しているね。<br>C：回答を予想しているよ。何のためだろう。 | ★相手の回答に応じて内容を深めるための計画の立て方を理解すること。<br>・模造紙に次の2つの内容を書いてまとめ、技として活用できるようにする。<br>①柱となる質問と掘り下げる質問を考える。<br>②掘り下げる質問は、相手の回答を予想して考える。 |              | ◆インタビューの技を見付けようとしている。<br>(関心・意欲・態度)<br>[ノート・発言]  |
| 第三時 (Aコース)             | ①学習のめあてを確認する。(5分)<br>T：前回、学習したインタビューの技は何か。<br>C：相手の回答を予想することです。<br>C：あらかじめ掘り下げる質問を考えておくことです。<br>T：では、今日は、それらの技を使いながら、自分のインタビューの計画を立てていきましょう。                                                | ・前時の学習内容を掲示しておく。                                                                                                             | ・Aコース用ワークシート |                                                  |
| インタビューの技を使いながら、計画を立てよう |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                              |              |                                                  |
|                        | ②前時に付箋紙に書いた質問を柱とし、予想される回答を考える。(15分)<br>T：自分の主張を支える材料にするためには、相手にこういうことを答えてもらいたいという内容をノートに書きなさい。                                                                                              | ・黒板に拡大したものを示し、作業で迷わないようにする。                                                                                                  |              |                                                  |

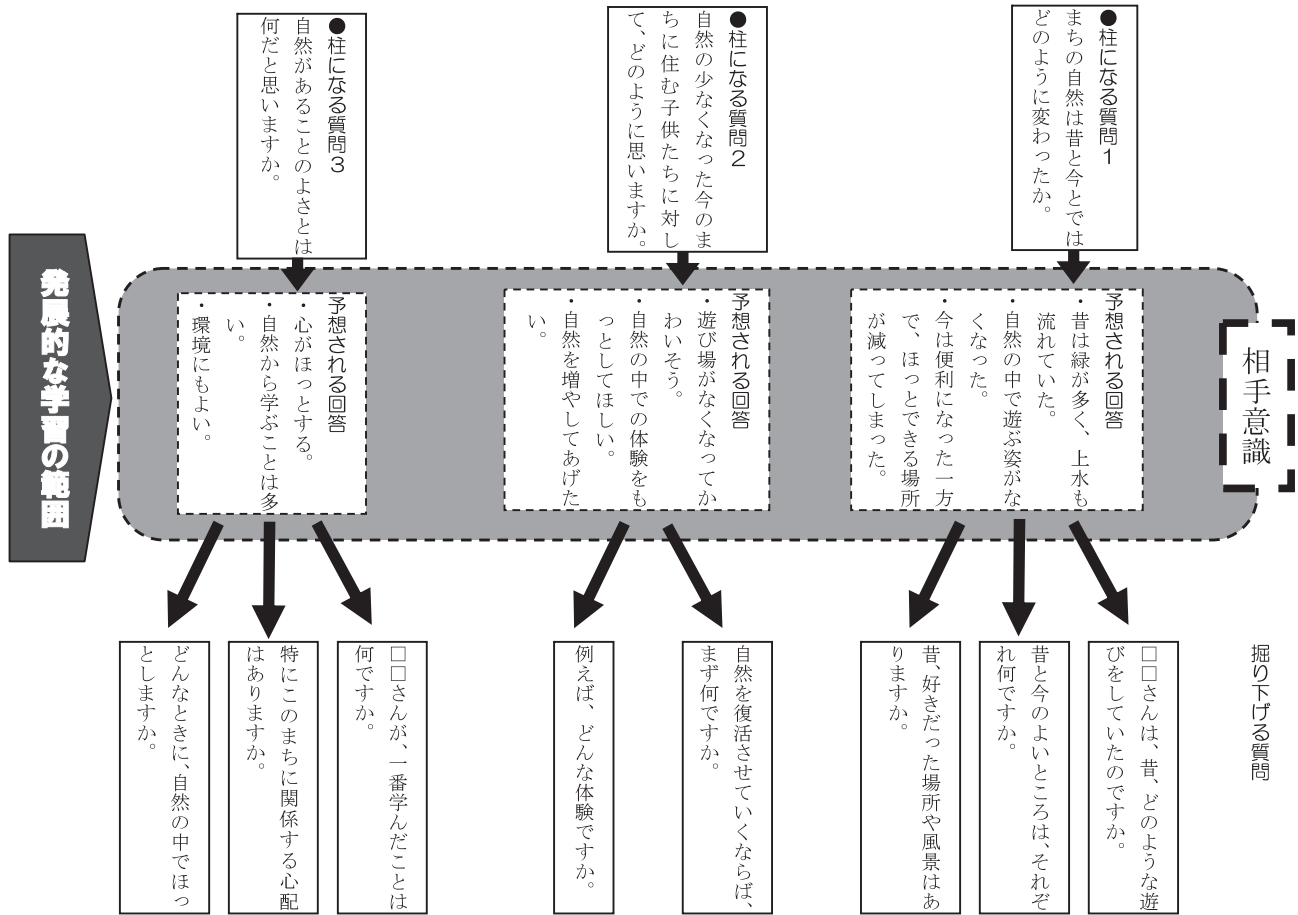
|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                         |                                                                  |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
|     | <p>T：前回付箋紙に書いた質問を出しましょう。ワークシートに貼ったら、どんな回答が予想されるか、質問する相手を意識しながら書いてみましょう。書けた人から、自分が引き出したい情報と比べましょう。</p> <p><b>③予想される回答をもとに、さらに掘り下げるための質問を考える。(20分)</b></p> <p>T：相手の回答から、さらに詳しく引き出したいところを掘り下げる質問を考えましょう。</p> <p>T：あなたの柱質問から予想される回答では、どんな情報が足りませんでしたか。</p> <p>C：体験は聞けそうだけど、もう少しそれに対する思いを引き出したいです。</p> <p>C：いくつか答えが出てきそうです。しばらくしないと深まらないと思いました。</p> <p>C：詳しい体験談を聞きたい。</p> <p>T：次の4つのパターンは、質問を深めるときに便利です。これらの言葉も参考にしながら、自分の引き出したい情報が出るように深める質問を考えましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例えば～（具体）<br/> ～したことはありますか。(体験)<br/> もし～、～とすれば(仮定)<br/> どんな思いで～(心情)</p> </div> <p><b>④教師を仮の相手として練習する。(5分)</b></p> | <p>★相手の立場と質問内容を重ね合わせ、予想される回答を考えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、引き出したい情報に赤線を引いて比較したことを確認させる。</li> </ul> <p>★予想される回答から自分の引き出したい情報につなげるための質問を考えること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掘り下げる質問は、あくまでも準備であって、実際の反応に応じて変えていく必要があることを確認する。</li> <li>・4つのパターンを黒板に掲示する。インタビューの例を指で指しながら、4つのパターンが使われていることを示す。</li> <li>・相互評価を取り入れる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てるためのワークシート</li> <li>・4つのパターンの掲示</li> </ul> | <p>◆情報を深く得るために、反応を予想して掘り下げる質問を考えている。<br/> (話す・聞く能力) [ワークシート]</p> |
| 第四時 | <p>①インタビューしたい相手を教室に招いたり、訪問したりしてインタビューをする。</p> <p>②インタビュー後、聞いた情報をメモする。計画書と重ねながら確認する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>★相手の回答に応じて掘り下げる質問をすること。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                         | <p>◆計画書をもとに、必要な情報を掘り下げながら聞いている。<br/> (話す・聞く能力) [ビデオ]</p>         |
| 第五時 | <p>①インタビューによって得た情報を箇条書きで整理する。</p> <p>②自分の主張を支える回答を選択する。</p> <p>③似たような考えで主張しようとしている友達のインタビューの結果も交流する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>★インタビューの結果から主張を支える内容を選び出すこと。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                         | <p>◆自分の主張とインタビューの結果を関連付けている。<br/> (話す・聞く能力) [ワークシート]</p>         |

|     |                                                                          |                                                   |                     |                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------|
| 第六時 | <p>①例文から、主張を支える引用の仕方を学ぶ。</p> <p>②インタビューの結果を引用しながら、主張するスピーチの原稿を考える。</p>   | <p>★文章を始め・中・終わりの三段階に分け、中にインタビューの結果を事例として示すこと。</p> | <p>・スピーチの例文（下記）</p> | <p>◆明確に伝わるよう話の構成を工夫している。<br/>（話す・聞く能力） [原稿]</p>        |
| 第七時 | <p>①自分の考えを発表し合う。</p> <p>②友達の発表を聞いて、賛同したものを発表する。</p> <p>③単元末の学習感想を書く。</p> | <p>★発表し合い、まちづくりについて自分の考えをまとめること。</p>              |                     | <p>◆主張が明確に伝わるように、適切な言葉遣いで話している。<br/>（話す・聞く能力） [発表]</p> |

### 板書計画（第三時）

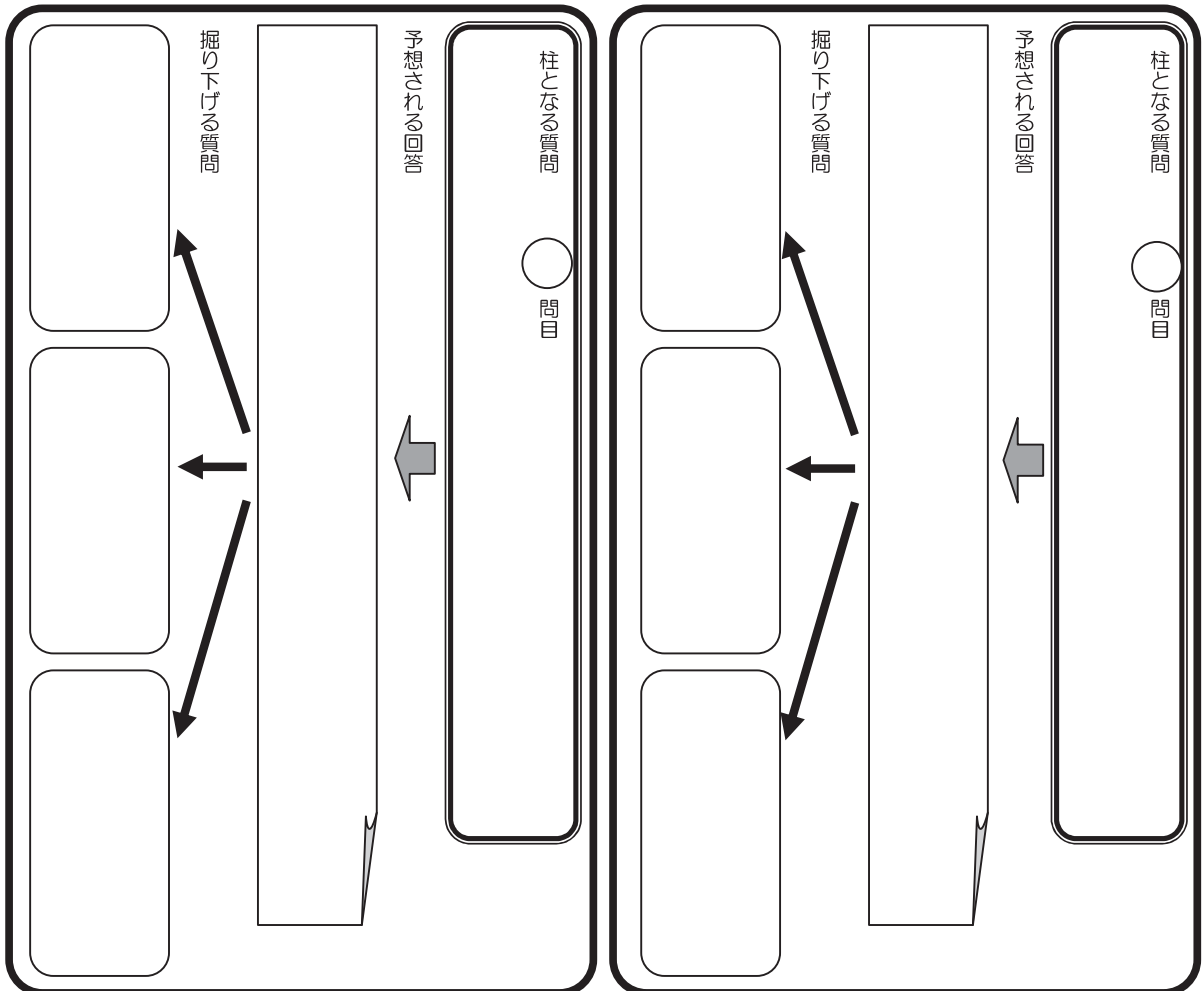


# インタビューの組み立て



## インタビューの計画書(Aコース)

あいさつ



# インタビューの計画書(Bコース)

あいさつ

|                                        |                                        |                                        |
|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|
| <p>柱となる質問</p> <p>問題</p> <p>掘り下げる質問</p> | <p>柱となる質問</p> <p>問題</p> <p>掘り下げる質問</p> | <p>柱となる質問</p> <p>問題</p> <p>掘り下げる質問</p> |
|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|

## インタビューの計画書

●あいさつ

●柱になる質問1

町の自然は昔と今とではどのように変わったか。

予想される回答

・昔は緑が多く、上水も流れていた。  
・自然の中で遊ぶ姿がなくなった。  
・今は便利になった一方で、息をつく場所が減ってしまった。

掘り下げる質問

○昔と今のよいところは、それぞれ何ですか。

○□□さんは、どのような遊びをしていたのですか。

○特に好きだった場所や風景はありますか。

●柱になる質問2

自然の少なくなった今の町に住む子供たちに対して、どのように思いますか。

予想される回答

・遊び場がなくなってかわいそう。  
・自然の中での体験をもっとしてほしい。  
・自然を増やしてほしい。

掘り下げる質問

○自然を復活させていくならば、まず何ですか。

○特にどんな体験ですか。

## インタビューの実例(例)

こんにちは。○小学校六年生の△△です。今日はお忙しい中、インタビューを受けてくださり、ありがとうございます。

早速ですが、質問させてください。

●この町にどのくらいお住まいですか。

○七十八年になります。

●この町の自然は、昔と今とではどのように変わりましたか。

○おじさんの子供のころは、上水にきれいな水が流れていて、夏になるとみんなで遊びましたよ。水も緑も、もともとたくさんありましたね。

●身近にそんな楽しめる場所があったなんて、うらやましいです。昔のいいところをお答えいただきましたが、□□さんは、昔と今の環境のよいところは、何でしょうか。

○今は何をするのも便利になったけど、やはり昔の自然に囲まれた景色が私は好きです。

●特に好きだった場所とか風景とかありますか。

○そうですね。学校の裏の雑木林には、たくさん思いつきがあります。木の枝、葉、昆虫などなんでも遊び道具になりました。おながすいたら、木の实なんかもとって食べましたよ。

●では、自然の少なくなった今の町に住む子供たちに対して、どのように思われますか。

○自然の中で遊ぶなくなっているのは、かわいそうだと思いますよ。ゲームなんてなくても、自然の中で友達といっぱい遊べたからね。体もずいぶんきたえられたんじゃないかな。そういった意味じゃ、子供にとって一番の遊び場である自然が少ないのは、やはりかわいそうだね。

●子供たちのために、自然を復活させていくとすれば、まず何がいいと思いますか。

○公園にもっと木を増やして、昔の雑木林みたいのができるといいよね。なかなかすぐにはいかないだろうけどさ。

後略

後略

## 第6学年 単元「パネルディスカッションをしよう」(話すこと・聞くこと) ゴミを減らす取り組みを話し合って提案しよう

### 1 事例の概要(9時間扱い)

#### (1) 単元について

高学年ともなると、社会的な問題に関心をもつ児童が多くなる。そして、自分たちの活動が実際に学校外部へ働きかける内容となると、さらに取り組みへの意欲が増す。そういった特性を捉え、本単元では、自分の住む自治体のゴミを減らすための取組を、他地域の事例や調査の結果を根拠にして提案し合う。その際に、パネルディスカッションの形式を取ることで、意見の交流を図りたい。

#### (2) 発展的な学習について

発展的な内容については、次の2点のように考えた。

- ・児童全員に求めるのは、話し手がどのような意見をどのような根拠をもとに主張しようとしているのか聞き取り、妥当性を判断することである。
- ・本単元の発展的な学習内容は、討論の際の聞き方にある。聞き取りメモを図式化することで、理由と根拠の関係を正確に捉えるようにする。そして、論の展開や妥当性から判断し、示された根拠に賛成できるか考えさせることで発展的な学習とする。

### 2 指導計画の位置付け( は発展的な学習に関わる時間)

#### (1) ゴミ問題の現状について交流し合い、課題意識をもつ。

モデルを基にパネルディスカッションの形式を知り、これからの学習計画を立てる。

(2時間)

#### (2) 調べたり交流したりして、自分の意見をもつ。(1時間)

#### (3) 意見の似ているメンバーでグループを編成する。

自分たちの意見を裏付ける根拠となる事例を調べたり、調査を行ったりする。

グループの意見をまとめる。代表者を決める。(3時間)

#### (4) パネルディスカッションの準備をする。(1時間)

Aコース 根拠を検討しながら聞く聞き方を学習するグループ: 発展的な学習の事例

Bコース 発表の練習をしたり、それを聞いて相互評価をしたりするグループ

#### (5) パネルディスカッションを行う。(1時間)

#### (6) 学習を通して考えたことを書いてまとめる。(1時間)

### 3 目 標

- 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合することができる。
- 話し手がどのような理由付けをしているか聞き、妥当性を判断することができる。

#### 4 学習活動の展開 (   は発展的な学習に関わる時間)

|     | ○学習内容・学習活動                                                                                                                                                                                                                                   | 指導上の留意点<br>★指導事項                             | 資料等              | 評価[方法]                                                         |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------|
| 第一時 | ①校長先生からの手紙を読む。                                                                                                                                                                                                                               | ・校長に依頼し、手紙を書いてもらう。                           |                  |                                                                |
|     | <p>学校から毎日たくさんのゴミが出されています。心配に思って、わたしたちの〇〇区のゴミの事情を調べてみました。このままゴミが減らないようだと、将来、わたしたちのゴミの捨て場所がなくなるという問題があるそうです。</p> <p>そこで、学校を代表して6年生のみなさんに、ゴミを減らす取り組みを提案する文章を書いてもらいたいのです。どのような提案がよいか、調べたり学級でよく話し合ったりして考えてください。</p> <p>考えがまとまったら、ぜひ聞かせてくださいね。</p> |                                              |                  |                                                                |
|     | ②ゴミ問題の現状について、知っていることを交流し合う。<br>③これからの学習の流れをつかむ。<br>・自分の考えをつくる。<br>↓<br>・グループで調べる。<br>↓<br>・発表の準備をする。<br>↓<br>・討論会を開く。<br>↓<br>・提案する文章を書く。<br>④これからの学習に向けた自分の目標をノートに書く。                                                                       | ★学習内容について<br>課題意識をもつこと。                      |                  | ◆課題について調べ、提案しようという思いをもっている。<br>(話す・聞く能力)<br>[ノート]              |
| 第二時 | ①モデルを基に、パネルディスカッションの進め方を理解する。<br>・司会役がいる。<br>・グループの代表者が発表する。<br>・代表者どうしの意見交換がある。<br>・聞いている人も参加できる。<br>②提案や意見の言い方について、工夫されていることを話し合う。<br>③学習のまとめを書き、発表していく中で、具体的な根拠を示して提案することが大切であることを確認する。                                                   | ★パネルディスカッションの進め方を知ること。<br><br>★根拠を示して提案すること。 | ・パネルディスカッションのモデル | ◆提案や意見の言い方について、工夫を考えながらモデルを聞いている。<br>(話す・聞く能力) [発言・ノート]        |
| 第三時 | ①課外に調べてきたことや知っていることを交流する。<br>②自分が提案したいことをノートに書き出し、1つにしぼる。<br>例・ゴミ回収の有料化を取り入れるべきではないか。<br>・各家庭での取り組みを増やすべきではないか。<br>・深刻な状況をもっと訴えかけるべきではないか。<br>・他の国からも方法を学ぶべきではないか。                                                                           | ★ゴミを減らすための提案について、自分の考えをもつこと。                 |                  | ◆提案したいことのアイデアを複数書き出し、そこから1つを選ぶことができている。<br>(関心・意欲・態度)<br>[ノート] |

|                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                                     |                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <p>第四～六時</p>                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>①グループに分かれて、提案についてのイメージを確かめ合う。</p> <p>②調べる計画を立てる。</p> <p>＊何を調べるか</p> <p>＊誰が調べるか</p> <p>＊どうやって調べるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人へのインタビュー</li> <li>・区の清掃課の人に聞く</li> <li>・アンケート調査</li> <li>・資料から調べる</li> <li>・図書館の本から調べる</li> </ul> <p>③分担して調べる。</p> <p>④調べたことを報告し合い、提案を整理する。</p> | <p>・前時のノートに書いた提案をもとに、教師が3つ程度のグループを編成しておく。</p> <p>★自分たちの提案をはっきりさせて、裏付ける事例（根拠）を調べること。</p> <p>・調査カードなどがあるとよい。</p> |                                                     | <p>◆提案の根拠とするため、収集した知識や情報を関係付けている。（話す・聞く能力）<br/>[ノート]</p> |
| <p>第七時<br/>(Aコース)</p>                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>①本時のねらいをつかむ。</p> <p>T: 第二時にパネルディスカッションのモデルを見たときに、意見交換がすごいという声が出ていましたね。</p> <p>T: 今日は、相手の話が、納得できるかどうか考えながら聞く方法を学習しましょう。</p>                                                                                                                                                                      | <p>・2学級同時に行う等の工夫をして、2コースに分かれて活動できる環境を作る。</p>                                                                   |                                                     |                                                          |
| <p>話し手の理由や根拠をメモしながら聞き、賛成できるか判断しよう。</p>                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                                     |                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>②ワークシートの活用の仕方を理解する。</p> <p>T: 実はモデルに出てきた名人たちは、理由や根拠を確かめながら聞くために、このようなワークシートを使っていました。</p> <p>T: 真ん中の列は、提案がどのような理由で出されたのか聞いてメモをしましょう。その理由は、どのような根拠となる事実を支えられているのか聞き取ります。点線の□は、納得できるものには○を、できないものは×、できない部分があるものは△を書き入れます。</p> <p>③聞き方のトレーニングをする。</p> <p>T: では、このワークシートを使って聞く練習をしましょう。</p>          |                                                                                                                | <p>・ワークシートの見本</p> <p>・拡大したワークシート</p> <p>・ワークシート</p> |                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                                     |                                                          |
| <p>私は、駅まで行くにはバスより自転車がよいと思います。理由は2つあります。</p> <p>1つめは、出かける時間を気にせずに出発することができるからです。私は、習い事にバスで行っていたのですが、学校から帰ってきてからいつも時計の針を気にして大変だったからです。また、1時間に6本しかバスが来ないので、朝の混雑時は大変だと父が言っていました。</p> <p>2つめは、自転車だと途中でどこかに寄ることができるからです。私は駅にでかける時に途中の店に寄らなくてはいけないことを思い出して交通費が高くついたことがあります。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                                     |                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>T: どのようなメモになりましたか。確認しましょう。</p> <p>④聞いた内容について、どういう判断をしたか交流する。</p> <p>T: メモしたことについて、点線の□の中に○・△・□を書き入れましょう。</p>                                                                                                                                                                                    | <p>★理由と根拠をメモしながら聞くこと。</p>                                                                                      |                                                     | <p>◆いくつかの理由があったか、どのような根拠が示されていたか考えながら聞いて</p>             |

- ①グループに分かれて、提案についてのイメージを確かめ合う。
- ②調べる計画を立てる。
  - \*何を調べるか
  - \*誰が調べるか
  - \*どうやって調べるか
    - ・家の人へのインタビュー
    - ・区の清掃課の人に聞く
    - ・アンケート調査
    - ・資料から調べる
    - ・図書館の本から調べる
- ③分担して調べる。
- ④調べたことを報告し合い、提案を整理する。

①本時のねらいをつかむ。

T: 第二時にパネルディスカッションのモデルを見たときに、意見交換がすごいという声が出ていましたね。

T: 今日は、相手の話が、納得できるかどうか考えながら聞く方法を学習しましょう。

②ワークシートの活用の仕方を理解する。  
T：実はモデルに出てきた名人たちは、理由や根拠を確かめながら聞くために、このようなワークシートを使っていました。

T：真ん中の列は、提案がどのような理由で出されたのか聞いてメモをしましょう。その理由は、どのような根拠となる事実を支えられているのか聞き取ります。点線の□は、納得できるものには○を、できないものは×、できない部分があるものは△を書き入れます。

③聞き方のトレーニングをする。  
T：では、このワークシートを使って聞く練習をしましょう。

私は、駅まで行くにはバスより自転車がいいと思います。理由は2つあります。

1 つめは、出かける時間を気にせずに出発することができるからです。私は、習い事にバスで行っていたのですが、学校から帰ってきてからいつも時計の針を気にして大変だったからです。また、1 時間に6 本しかバスが来ないので、朝の混雑時は大変だと父が言っていました。

2 つめは、自転車だと途中でどこかに寄ることができるからです。私は駅にでかける時に途中の店に寄らなくてはいけないことを思い出して交通費が高かったことがあります。

- ・前時のノートに書いた提案をもとに、教師が3つ程度のグループを編成しておく。

★自分たちの提案をはっきりさせて、裏付ける事例（根拠）を調べること。

- ・調査カードなどがあるとよい。

★理由と根拠をメモしながら聞くこと。

◆いくつかの理由があったか、どのような根拠が示されていたか考えながら聞いて

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                        |              |                                                                                                                  |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>どうしてそうしたのか、発表しましょう。</p> <p>C：理由①については、△にしました。急いでいる時でなければ、5分くらい待つのは気にならないと考えたからです。</p> <p>C：理由①の根拠の1つめについて、私は○にしました。私も今ちょうど同じような思いをしているからです。</p> <p>T：△や×を付けた人は、どのような意見を言いますか。</p> <p>⑤他の例でも練習をする。</p>                                                                                                                                    | <p>★聞いた内容について妥当性を判断すること。</p> <p>・次の文を指導者が読む。</p>                                       |              | <p>いる。<br/>(話す・聞く能力)<br/>[ワークシート]</p> <p>◆聞き取った理由や根拠について妥当性を判断している。<br/>(話す・聞く能力)<br/>[発言・ワークシート]</p>            |
|     | <p>風邪が広がらないようにするには、全員マスクをするのがよいと考えます。</p> <p>理由は2つあります。1つめは、マスクをすることでウイルスが飛ぶのを防ぐことができるからです。保健便りに、マスクをしないとくしゃみをした時に、10m先にウイルスが広がると書かれていました。また、私のマスクのパッケージには99%のウイルスを防ぐと書いてあります。</p> <p>2つめは、のどを湿らせることができるからです。「風邪を防ぐ」という本には、かんそうを防ぐことが風邪を広めないポイントだと書かれています。マスクをしていると自分の息の水蒸気で、のどを適度に湿らせることができるので有効です。</p> <p>だから、風邪がはやり始めたら、全員マスクをしましょう。</p> |                                                                                        |              |                                                                                                                  |
|     | ⑥本時の振り返りをノートに書き、発表し合う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                        |              |                                                                                                                  |
| 第八時 | <p>①パネルディスカッションを行う。</p> <p>1 司会者（コーディネーター）によるはじめの言葉</p> <p>2 代表者（パネリスト）の提案</p> <p>3 考えを整理する（3分間）</p> <p>4 代表者同士の意見交換</p> <p>5 聞いていた人（フロア）からの意見交換</p> <p>6 代表者によるまとめ</p> <p>7 司会者による終わりの言葉</p> <p>②パネルディスカッションを通して考えたことや賛同した意見をノートに書く。</p>                                                                                                   | <p>・進行のプログラムを提示する。</p> <p>・意見交換に入る前に整理する時間をとる。</p> <p>★理由や根拠が本当にそういい切れるか考えながら聞くこと。</p> | ・ワークシート（2種類） | <p>◆話し手の理由や根拠を聞き、妥当性を判断している。<br/>(話す・聞く能力)<br/>[発言]</p> <p>◆役割に応じて話し合いを計画的に進めようとしている。<br/>(話す・聞く能力)<br/>[発言]</p> |
| 第九時 | <p>①提案する文章の構成を理解する。<br/>提案→理由・根拠となる事実→他のグループの案→まとめ</p> <p>②提案する文章を書く。<br/>・校長先生に向けた言葉遣いで書く。</p>                                                                                                                                                                                                                                             | <p>・パネルディスカッションでのグループ提案を生かして書く。</p> <p>★相手を意識しながら自分たちの考えが伝わるように工夫して表現すること。</p>         | ・原稿用紙        | <p>◆パネルディスカッションを通して深まったり広がったりした考えを、提案文として発信しようとしている。<br/>(関心・意欲態度)<br/>[提案文]</p>                                 |

## パネルディスカッションのモデル

### 司会者によるはじめの言葉

これから「平和な世の中をつくるために必要なこと」についてのパネルディスカッションを始めます。

### グループの代表者(パネリスト)の意見発表

私たちの提案は、です。  
理由は○つあります。一つめは□です。  
私たちが調べた□によると…  
私は実際に□したことがあります。  
□についてアンケート調査した結果…

### グループの代表者(パネリスト)どうしの意見交換

聞いていた人(フロア)からの意見交換  
私は□という意見なのですが、○○のグループに質問があります。  
さっき、□と言っていました…

### 代表者によるまとめ

私たちの提案は□です。  
確かに□という意見も大切だと思います。  
今日のパネルディスカッションを通して□というところが変わりました。

### 司会者による終わりの言葉

これで「平和な世の中をつくるために必要なこと」についてのパネルディスカッションを終わります。

わたしたちは、平和な世の中にするためには、世界中の国々がもっと交流を深めていくべきだと考えます。理由は二つあります。一つめは、スポーツの分野ではいろいろな国同士が交流できているので、各国のつながりが深められているからです。例えば、この間行われたオリンピックのセレモニーでは、多くの国の人々が一緒にすることで世界中に感動を呼びました。また、社会科の資料集によると、オリンピックで韓国と北朝鮮が合同の朝鮮チームとして参加して話題を呼んだと書かれています。まさにスポーツという交流を通して、手を取り合った証ではないでしょうか。

二つめは、交流することによってその国のよさがわかるようになるからです。この間、テレビ番組で青年協力が井戸を掘った国について特集していたのですが、その人たちは、とても日本のことを親切で働き者な国だと思ってくれているようでした。遠く離れた国同士なのですが、交流することで親しくなれるんだと思いました。また、グループのFくんのお父さんが韓国に行った時、韓国人が親しげに日本のマンガのことを話しかけてきたそうです。交流の多い韓国だから、日本のよさがいろいろ分かってくれているんだと感じました。

### 意見交換の様子

A：スポーツの交流を通して、各国の関係が深まってくると言っていました。スポーツの分野で親しくなっているだけではないでしょうか。  
B：もちろんスポーツの交流をしたからと言って、すぐに親しくなるわけではありません。しかし、いろいろな交流をしていかなければ親しくなるきっかけも得られないと考えます。  
C：わたしもBさんの意見に賛成です。わたしたちは、環境問題への取り組みのような共通の目標への取り組みを強化すべきという提案ですが、それも関わりの一つだと思っています。  
D：なるほど、BさんもCさんも関わりの機会を増やしていくことで、親しい関係をつくっていくという意見なのですね。糸を縄にしていこうように。Eさんはどうですか。  
E：聞いていて、友達もそうだなと思いました。  
A：わたしも「きっかけ」という言葉ですごく納得しました。  
D：他のことについての意見はありますか。  
C：Bさんの交流することによってよさが分かるというのには確かにそうだと思います。でも、韓国の人が親しげに話しかけてきたというのは、その根拠になるでしょうか。個人的なことだし。  
B：韓国の人が日本のマンガ文化にふれたから、親しみをもちたと考えたのです。  
E：観光業の人かもしれないね。  
(後略)

## パネルディスカッションの名人によるメモ

### 論題

平和な世界をつくるために必要なことを話し合おう

### 提案

世界の国々がもっと交流を深めていくべきだ。

### 理由①

スポーツ  
←  
各国のつながり◎

### 理由②

交流する  
←  
よさが分かる

### 事実

感動  
オリンピックのセレモニー

### 事実

朝鮮チーム

### 事実

### 事実

協力隊↓親日派多

### 事実

父 韓国  
親しげに日本語

### 事実

単語や短い文でメモをとる。

短い言葉でメモをとる。記号なども使うとよい。

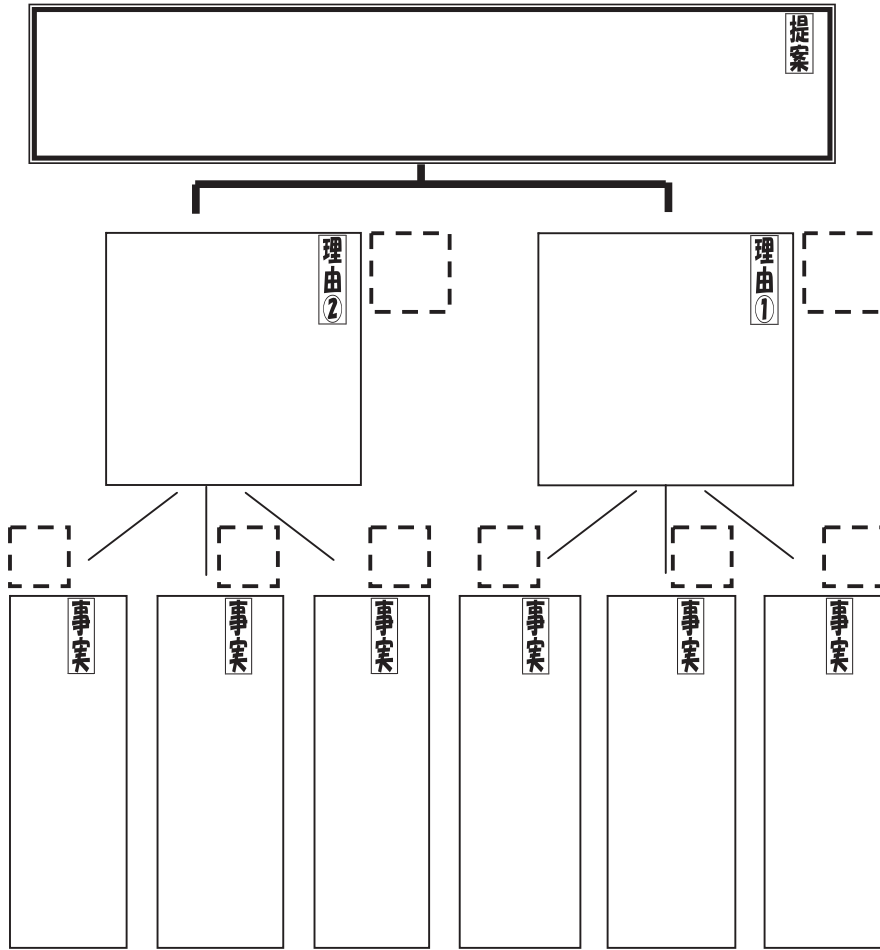
△には、理由や根拠に賛成できるかを記号で表す。  
○…賛成 △…疑問あり ×…反対

### 《根拠となる事実》

(Aコース)

論題

《 根拠となる事実 》



提案以外についてのメモ

(Bコース)

論題

|        |     |
|--------|-----|
| 聞き取りメモ | 提案① |
| 聞き取りメモ | 提案② |
| 聞き取りメモ | 提案③ |

自分の意見

自分の意見

自分の意見

提案以外についてのメモ

## 第5学年 単元「計画的に話し合おう」（話すこと・聞くこと） 4年生に『とっておき情報』を伝えよう

### 1 事例の概要（7時間扱い）

#### (1) 単元について

互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことについて、どこをどのように話し合ったらよいかという「話し合い」を具体的に指導する単元である。

「互いの意見を関係付け、それをもとにした結論を吟味する」という話し合いの場面を取り上げる。うまくいった経験からは「コツ」を、うまくいかなかった経験からは「解決策」を見出すという話し合いの流れになるよう、話し合いのモデルを効果的に用いる。

#### (2) 発展的な学習について

発展的な内容として、話し合いで「どのように原因を見出すか」に加え、「どのように原因となる要因を見出していくか」、さらにこれらを基に具体的な解決策につなげていく考え方を取り上げる。

本単元では、自分と相手の意見を比べ、互いの意見を整理し、関係付けながら多面的に考えることにより、自分の考えを広げ深めていくことができるよう育てたい。

### 2 指導計画の位置付け（ は発展的な学習に関わる時間）

(1) 4年生の林間学校の大成功へつながるテーマを考える。（1時間）

(2) テーマに基づいて、「うまくいった経験」「うまくいかなかった経験」を付箋に書き、話し合いの材料をもつ。（1時間）

(3) 話し合い1

・自分の経験を出し合いながら「互いの意見を関係付ける」段階の話し合い

※児童が相互にうまくいった経験、うまくいかなかった経験を出し合い、林間学校の場面や出来事に共通点や相違点を見出しながら整理し、関係付ける。（1時間）

(4) 話し合い2

・関係付けたことを基に、結論を吟味する（1時間）

Aコース：原因とその要因を明確にしながら解決策を探る話し合い：発展的な学習の事例

Bコース：原因を見出し、解決策につなげていく話し合い

(5) 2回の話し合いを経て考えたアドバイスを基に、場面に応じた解決策や励ましの言葉などを入れながらとっておきの情報（文章）としてまとめる。（1時間）

(6) 「4年生に伝える会」を開き、林間学校のとっておきの情報を伝える。（1時間）

### 3 目 標

- 意見を出し合いながら、計画的に話し合おうとすることができる。
- 互いの意見を比べ、整理したり関係付けたりしながら聞くことができる。
- 事例を出し合い、自分の考えの根拠をはっきりさせて話し合うことができる。

#### 4 学習活動の展開 ( ) は発展的な学習に関わる時間)

|     | ○学習内容・学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 指導上の留意点<br>★指導事項                                                                                                                | 資料等                                    | 評価[方法]                                                                                   |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第一時 | ①林間学校でどのようなことをしてきたか、話し合いながら活動を振り返る。<br>②林間学校を大成功に導くために必要なことや大切なことは何か、「伝えたいこと (=テーマ)」を話し合う。<br>③出された「伝えたいこと (=テーマ)」の中から、話し合いたいテーマ選び、グルーピングする。(1グループ4人程度)<br>④学習計画を立てる。                                                                                                                       | ★4年生に対して、林間学校を大成功させるためのアドバイスをするために話し合うという意識を明確にし、意欲をもつこと。<br>★様々な場面を振り返り、自分の経験をもとに考えをもつこと。<br>・今までの活動を想起できるようビデオや写真、しおりなどを用意する。 | ・林間学校の記録資料<br><br>・学習計画表<br>・学習感想      | ◆自分の経験を基に発言している。<br>(関心・意欲・態度) [発言]<br>◆伝える会のイメージをもち、学習の見通しを明確にする。<br>(関心・意欲・態度) [学習計画表] |
| 課外  | ○必要に応じて、話し合いの材料を集める。(インタビュー)<br>・林間学校で大変だったこと<br>・よかったこと<br>・大切なこと<br>・来年度変わること<br>・取材したことをカードに書く。                                                                                                                                                                                          | ・「伝えたいこと」のテーマに沿ってアドバイスをにつながる内容を取材する。<br>・自分の考えのもとになる事例を聞くことを確認する。                                                               | ・取材カード                                 |                                                                                          |
| 第二時 | ①自分が話し合うテーマについて、「うまくいった経験」と「うまくいかなかった経験」の視点に沿って、自分の経験を振り返り、付箋に書く。(短い文)<br>②付箋の内容が具体的な経験や事例になっているかを振り返り、必要に応じて修正する。                                                                                                                                                                          | ★自分が経験したことや取材したことを基に、具体的な場面が浮かぶよう、自分の考えをまとめること。<br>・うまくいった経験とうまくいかなかった経験を二色の付箋に分けてまとめさせる。                                       | ・二色の付箋                                 | ◆自分の経験や事例などを具体的に書いている。<br>(話す・聞く能力) [付箋]                                                 |
| 第三時 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             共通点や相違点を見出しながら互いの意見を整理し、関係付けよう。(話し合い1)           </div> ①話し合いの例(モデル①)を開き、話し合いの進め方と関係付ける話し合いの仕方について気付く。<br>T:これから付箋を使って互いの意見を整理しながら話し合う話し合いのモデルを示します。どのようなルールで話し合っているか、付箋を使ってどのように話し合っているかに注意して聞きましょう。 |                                                                                                                                 |                                        |                                                                                          |
|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ★考えを書いた付箋を「話し合いボード」上で関係付けることで、話し合いが整理され、まとまりやすくなること。                                                                            | ・話し合いボード<br>・モデル付箋<br>・モデルテープ1 (モデル台本) |                                                                                          |

|                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                     |                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>モデル1をテープ（音声）と付箋操作（視覚）の両面から提示</p> </div> <p>T：ルールを確認しましょう。<br/> C：似た意見の付箋は並べて貼る。<br/> C：違った考えの付箋は離して貼る。<br/> C：自分の経験や例をあげて話す。<br/> （話し合いの仕方を理解し、グループのテーマに沿って「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」の視点で話し合う。）<br/> ②互いの意見を関係付けながら話し合ったことを基に、アドバイスを考えることを知る。<br/> T：出し合った意見を整理し、見出しを付けましょう。また、関連している意見があったら線で結んだり、説明を入れたりしましょう。（例を示す）<br/> ③グループのテーマに沿って「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」の視点で書いた付箋を出しながら自分の考えを話し、共通点や相違点を見出しながら整理し、互いの意見を関係付ける。<br/> T：話し合いを始めましょう。<br/> C：グループごとに話し合い、互いの意見を関係付ける。</p> | <p>★観点（活動の場面）ごとに共通点や相違点を考えながら互いの意見を整理したり関係付けたりすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいったことから「コツ」をうまくいかなかったことから「解決策」を考えることを伝える。</li> <li>・視点に沿って具体的な経験や事例（根拠）をはっきりさせて話すことを確認する。</li> <li>・自分の経験と重ね合わせながら友達の見解を聞くことを確かめる。</li> <li>・互いの具体的な経験や事例を関係付けながら話し合うことを確かめる。</li> <li>・拡大付箋を使って「互いの意見を関係付ける」例を示す。</li> </ul> |                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの例（モデル①）に基づいて、共通点や相違点を見出しながら互いの考えを整理し、関係付けている。（話す・聞く能力）[話し合いボード]</li> <li>◆具体的な経験や事例などの根拠を明確にしながら話し合っている。（話す・聞く能力）[発言・話し合いボード]</li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第四時（Aコース）</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>関係付けたことを基に、4年生へのよりよいアドバイスを考えよう（話し合い2）</p> </div> <p>①学習内容と進め方を確認する。<br/> T：今日は、昨日関係付けたことをもとに、4年生に伝える具体的なアドバイスの内容を話し合います。<br/> T：うまくいった経験からはコツ、うまくいかなかった経験からは解決策を見出すことができましたね。<br/> T：話し合いを始めましょう。どこの観点（場面）から話し合ってもよいです。<br/> C：グループごとに話し合い、アドバイスを考える。（10分）<br/> ②アドバイスの内容を振り返る。<br/> T：話し合ってまとめたアドバイスの内容を見直してみましょう。<br/> C：考えたアドバイスを発表する。<br/> T：これから話し合いのモデルのテープを流します。黒板にある拡大付箋の動きを見ながら、具体的なアドバイスを見出す話し合いの仕方を学びましょう。<br/> C：拡大付箋を見ながらモデルテープを聞く。</p>                        | <p>★観点に沿って具体的な経験や事例（根拠）をはっきりさせて話すこと。</p> <p>★互いの意見を関係付けたことを基に、具体的なアドバイスの内容を話し合うこと。</p>                                                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いボード</li> <li>・モデル付箋</li> <li>・モデルテープ2（モデル台本）</li> </ul> |                                                                                                                                                                                       |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                               |     |                                                                                                                                                                                                                     |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>〔モデル②〕うまくいった経験とうまくなかった経験が対立する場面を取り上げ、原因を見出し、その要因を明確にしながら話し合うことが具体的な解決策やコツとなり、アドバイスになるというモデル</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                               |     | <p>◆原因を見出し、その要因を明確にしながら話し合うことが具体的な解決策やコツにつながることに気付いている。<br/>(話す・聞く能力) [発言]</p> <p>◆話合いのモデル2に沿ってアドバイスの内容や話合いの進め方を振り返っている。<br/>(話す・聞く能力) [評価カード]</p> <p>◆互いの意見を関係付けたことを基に、具体的なアドバイスを話し合っている。<br/>(話す・聞く能力) [話ボード]</p> |
|     | <p>T : モデルのアドバイスの内容を聞いて気付いたことを出し合しましょう。<br/>C : アドバイスが具体的だった。<br/>C : コツや解決策がアドバイスになっていた。<br/>T : では、モデルの中のどの言葉をきっかけに、具体的なコツや解決策につながっていったのでしょうか。<br/>C : 「原因はきっと～」という言葉<br/>C : 「だって～」という理由<br/>T : そうですね。原因を見出し、さらにその理由(要因)を考えることによって、どうすればよいかという具体的な解決策を見出すことができるのですね。</p> <p>T : では自分たちのアドバイスの内容を振り返ってみましょう。<br/>C : 詳しくない。具体的でない。<br/>③話合いの続きを行い、よりよいアドバイスを考える。<br/>T : では、モデルで学習したことを生かし、とっておき情報として、よりよい内容になるようにアドバイスを考えましょう。<br/>C : (具体的なアドバイスに向かって話し合う。)<br/>④話合いを振り返る。<br/>T : モデルを基に話し合ったことを振り返りましょう。</p> | <p>・話合いのモデル2のテープと拡大付箋を用意する。</p> <p>★原因を見出し、その要因を明確にしながら話し合うことが具体的な解決策やコツにつながっていることに気付くこと。</p> <p>・必要に応じて、話合いを深める言葉を意識させながらテープを再度聞かせる。</p> <p>・要因があることで、原因がより明確になることを確かめる。</p> |     |                                                                                                                                                                                                                     |
| 第五時 | <p>①グループで話し合った内容を見直し、伝える情報を分担する。</p> <p>②自分の分担について、4年生へのとっておき情報になるように簡単な原稿を書く。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>★話し合ったことを生かし、経験談や場面に応じた解決策、うまくいくためのコツ、励ましの言葉などを入れながら、とっておき情報を書くこと。</p> <p>・話合いボードの付箋が原稿の元になっていることに気付かせる。</p>                                                               | ・原稿 | <p>◆具体的な経験や事例を挙げ、話し合ったことを生かし、具体的なとっておき情報を書いている。<br/>(話す・聞く能力) [原稿]</p>                                                                                                                                              |
| 第六時 | <p>①「4年生に伝える会」を開き、5年生からのとっておき情報を伝える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>★伝えたいことが明確になるよう、具体例を挙げながら自分の思いをしつかりと4年生に伝えること。</p>                                                                                                                         | ・発表 | <p>◆4年生に「とっておき情報」を伝えている。<br/>(話す・聞く能力) [発表]</p>                                                                                                                                                                     |

□ 四年生にとっておき情報を伝えよう〜林間学校大成功への道〜 □ 話合いの例 モデル①

モデル①のねらい：付箋を使って具体的な事例を出し合い、互いの意見を関係付けて話合う、話合いの進め方を理解する。

◆ ステップ1 ◆ 付箋を使った話合いの進め方を確かめましょう。

★付箋を出すときは、必ず自分の経験（エピソード）を話しながら出します。

◆ ステップ2 ◆ 出した互いの意見を整理したり関係付けたりしてみよう。

★似ている意見は重ねてはります。違う意見は横に並べてはります。

◆ ステップ1 ◆

どうやって話し合う？

では、自分のメモボードにはつてある付箋を出していつて、似たものがあつたら、その都度 重ねて出していこうよ。

うん。でも、だまっていけないで、ちゃんと自分の経験（エピソード）を話しながら出して整理していこうよ。

そうだね。一見、付箋に同じことが書いてあつても、よく聞いてみると意味がちがうことがあるからね。

いいね。始めよう。そうしよう。

■一人一人付箋付きのメモボードを持つている。

■話合いボードはグループで一つ用意する。

伝えたいこと（テーマ） 「五分前行動」を成功させるためには・・・

◆ ステップ2 ◆

では私から。私はお風呂の場面のことなんだけど、お風呂の時間にもようがあるってよかったと書いたよ。時間になつて部屋を出たらお風呂の時間が短くなつちゃうもん。 ※1

私も。私は、部屋に忘れ物をしちゃつたんだけど、五分前行動をしていたからおれずにすんだことを伝えたい。 ※2

ぼくも同じ。ぼくは食事係だったから早くお風呂を出なくてはならなかったんだけど、五分前行動をとっていたからあつてないでお風呂に入ることができたよ。 ※3

いいね。お風呂のことはみんな「うまくいった経験」なんだね。では四年生には

と伝えよう。

では、朝会の場面のことに移つていい？・・・（全員納得）

私は、五分前行動を意識すると朝会に遅れないということを伝えたいです。朝から遅刻するとはずかしいし。 ※4

ぼくも同じのを書いた。五分前行動をすると朝会に遅刻しない。 ※5

意欲して、朝会のことばうまいかなかつた経験として書いたんだ。五分前行動はだ。 ※6

私も。三日目は眠くて朝会に遅れてしまったの。 ※7

なるほどね。同じ朝会のことなのに、うまくいかなかったこともあつたんだね。うん。どうやって伝える？

※1 付箋をボードにはる。

※2, 3 「※1」の付箋に重ねてはる。

■似ている経験を線で囲つて見出しをつける。

◎アドバイスを考え、新たな付箋に書く。

※4 付箋をボードにはる。

※5 「※4」の付箋に重ねてはる。

※6 付箋を「※4, 5」の横にはる。

※7 「※6」の付箋に重ねてはる。反対の経験を関係付ける。 ◎アドバイスを新たな付箋に書く。

□ 四年生にとっておき情報を伝えよう〜林間学校大成功への道〜 □ 話合いの例 モデル②

モデル②のねらい：原因を考えながら話合い、原因となる理由（要因）を明確にすることが具体的な解決策やコツにつながることを理解する。

関係付けて話し合ったことを基に、アドバイスを考えていきましょう。

◎ヒント◎ うまくいった経験 ↓うまくいくためのコツ

うまくいかなかった経験 ↓うまくいくための解決策 となりますね。

◆ ステップ3 ◆ 四年生への「とおき情報」になるように、具体的なアドバイスを考えましょう。

★互いの経験をたずね合いながら、「どうしてうまくいかなかったのか」「うまくいかなかった原因は何だったのか」について話し合つていくと、具体的な解決策やコツが明らかになります。

◆ ステップ3 ◆ 朝会の場面

A この二つを見て。「布団を片付けるときにベアになった」というのは、同じ内容なのに「うまくいった経験（Cさん）」と「うまくいかなかった経験（Bさん）」の両方の付箋に出ているね。なぜなんだろう。

B 本当だ。ねえねえ、Cさんの班の「ベアになった」つてどういうこと？

C ああ、うちの班は、自分の布団だけを片付けるのではなくて、ベアになつて二人一組で布団をたたんだんだよね。だから、かけ布団とかも、すぐにたためて楽だったよ。

B そうなんだ。でも、うちの班もそうやつたのに朝会におくれたんだよね。

どうしてうまくいかなかったのかなあ。

Bさんの班は、すぐにたたみ始めたの？

うん、着替えてから たただけ。

C ああ。原因は、きつと着替えてからたたんだことじゃない？

だつて、布団の上で着替えている人がいると、早く着替え終わつた人もなかなか布団が片付けられないじゃない。だからうちの班は、先にどどん布団を片付けたよ。その後、一気に着替えたよ。

ああ、そうか。そうすればよかったんだ。

じゃあ、四年生になつてアドバイスする？

うん。「布団は起きたらすぐにたたむといふよ。」でいいんじゃない？

C ええ、そうかな。それだけじゃあ、なんで起きたらすぐに布団をたたんだらいいのかわからないんじゃない？

D そうか、それなら「着替えを先にすると、布団を一気に片付けられないから」つていうわけを付け加えよう。

あと、この付箋の「布団をたたむときはベアになつてたたむといふ。」も伝えたほうがいいよね。

うん、そうだね。具体的なアドバイスになったね

□色違いの付箋の中に同じ内容があることに気付いている。

□違いを明確にするために状況を詳しく聞き出している。

□原因をさぐる問いかけをしている。

□さらに状況を詳しく聞き出している。

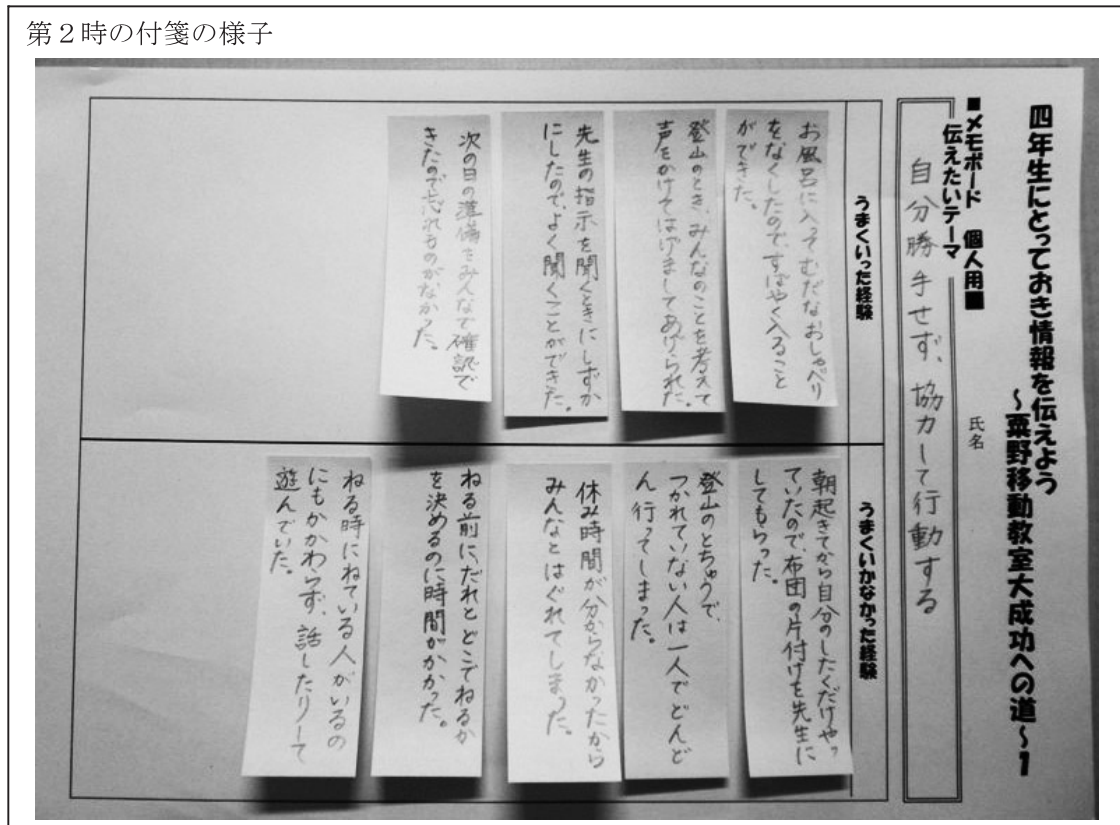
□原因を見出し、その根拠を述べている。

□解決策をアドバイスにしている。

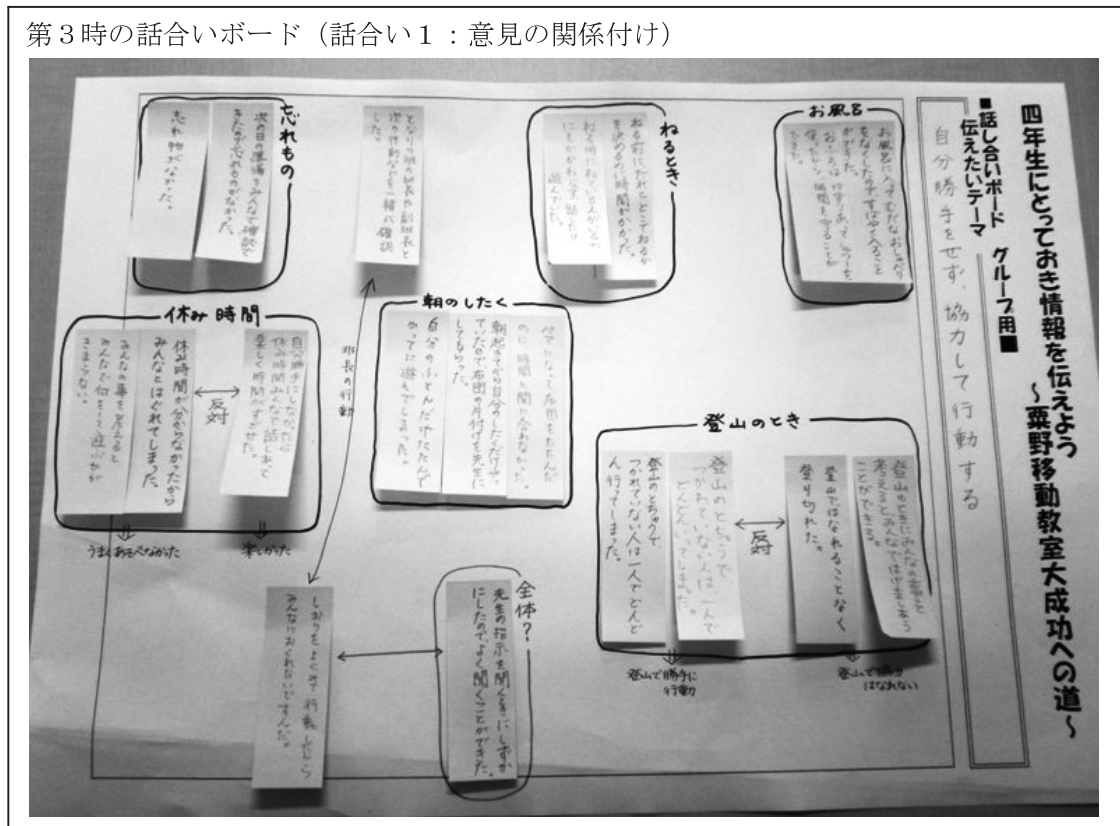
□解決策に根拠を付け足し、アドバイスを具体的にしている。

□アドバイスをコツを付け足している。

第2時の付箋の様子



第3時の話し合いボード（話し合い1：意見の関係付け）





## 1 事例の概要（3時間扱い）

## (1) 単元について

本事例は、書くことの領域における発展的な学習を考えたものである。「意見文を書こう」の単元において、構成の効果を考える活動を発展的な学習として扱う。

第一次では、相手意識をもち、学級の友達に、自分の意見を伝える際に、自分の考えを最初に示すか、最後に示すかなど、どこで考えを示すとよいかを考えて構成し、記述する。（例文を基に、まずは、自分の書きやすい構成により記述を行う。）この第一次を、基礎・基本を習得する学習とする。第二次を発展的な学習として位置付けている。

## (2) 発展的な学習について

第一次で用いた文章構成とは別の構成により二つめの文章を書く。題材や伝えたいことは同一で、別の文章構成の型を用いて文章を組み立て、記述する。その際、文章構成の特徴や効果について、読み手を意識して考え、組み立てるようにする。さらに、文章構成の効果について、第一次で書いた文章と第二次で書いた文章を比較・分析し、どちらの方が自分の伝えたいことをより効果的に伝えることができているかを考える活動を行う。文章構成の効果を考える学習は、書くことの高めるとともに、読むことの領域でも筆者の構成の仕方などを考える学習場面等で今後、活用していくことができると思われる。

2 指導計画の位置付け（ は発展的な学習に関わる時間）

大単元「意見文を書こう」の指導計画の終末に位置付ける。

第一次 「学校をよりよくしよう」（8時間）

- ・題材設定（1時間）
- ・取材（1時間）
- ・構成（1時間）
- ・記述（2時間）
- ・推敲（1時間）
- ・清書（1時間）
- ・交流（1時間）

第二次 「別の文章構成で書いてみよう」（3時間 発展的な学習の事例）

## 3 目 標

- 意見文を書くことの学習で獲得した一つの書き方を活用して、別の文章構成の型で書くことができる。
- 2つの文章を比較・分析し、構成の効果について考えることができる。

#### 4 学習活動の展開 ( ) は発展的な学習に関わる時間)

|     | ○学習内容・学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 指導上の留意点<br>★指導事項                                                                                                         | 資料等         | 評価[方法]                                           |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------------------------------|
| 第一時 | ①例文を読み、それぞれの文章構成の特徴を確認する。<br>T：三つの例文を読んで、文章のつくりの特徴を捉えましょう。<br>C：考えが書かれている場所がそれぞれ違っているね。                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ★頭括型、尾括型、双括型それぞれの特徴を知ること。<br>・伝えたいことの中心が書かれている場所を見付けることで、それぞれの構成の違いに気付かせる。                                               | ・例文         |                                                  |
|     | 意見文を別の文章構成で書いてみよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                          |             |                                                  |
|     | ②第一次で書いた意見文とは違う文章構成を選び、構成表を作る。<br>T：前回の学習で書いた文章のつくりとは違う文章のつくりで意見文を書きます。<br>C：今回は、尾括型にしてみよう。<br>C：尾括型で書くときは、どんなことに気を付けるといいかな。<br>T：自分で選んだ文章のつくりに基づいて、構成表を作りましょう。<br>C：尾括型だと、最初に話題提示があるから、読み手が興味をもつような書き方にしよう。                                                                                                                                                                   | ★より効果的な構成を考え、構成表を作成すること。<br>・自分の考えが伝わりやすい構成を考えるように助言する。                                                                  | ・構成表        | ◆文章構成の特徴を知り、構成表を書いている。<br>(関心・意欲・態度)<br>[ワークシート] |
| 第二時 | 構成表をもとに記述しよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                          |             |                                                  |
|     | ①前時で書いた構成表を基に記述する。<br>T：構成表を基にして、意見文を書きましょう。<br>C：(意見文を書く)<br><br>②書きあげた文章を読み直し、推敲する。<br>T：意見が伝わりやすいかどうか読み直しましょう。<br>C：尾括型で書いたから、構成表で考えた、読み手が興味をもつような話題提示になっているかどうか読み直そう。<br><br>③文章を互いに読み合い、表現の工夫などについて助言し合う。<br>T：それでは、友達と意見文を読み合い、文章のよい点や表現の工夫などについて助言し合いましょう。<br>C：書き出しが、問いかける表現で始まっているので、興味をもって読むことができたよ。<br>C：事例の書き方を、だれでも思い浮かべられるように、「例えば～」という言葉を使って具体的に書くともっとよくなると思うよ。 | ★構成を意識しながら記述すること。<br>・何をどのような順で書くと自分の考えが伝わりやすいかを考えるようにする。<br>★よりよい文章を目指して文章を見直すこと。<br><br>★友達の文章のよい点や表現の工夫などについて助言し合うこと。 | ・例文<br>・構成表 | ◆構成の特徴を意識して文章を書いている。<br>(書く能力)<br>[ワークシート]       |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                       |                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 第三時 | 二つの文章を比較し、構成の効果について考えよう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                       |                                                 |
|     | <p>①自分が書いた２種類の意見文を比較、分析する。</p> <p>T：今日は、構成の違う二つの意見文を比べて、その違いについて考えてみましょう。</p> <p>皆さんは、どの構成の型を用いて記述してみましたか。</p> <p>C：ぼくは、最初尾括型で書いてみたんだけど、二つ目は双括型にしてみました。</p> <p>C：私は、頭括型と尾括型で書いてみました。</p> <p>T：それぞれの文章を読み直してみ、読んだ人に自分の考えが分かりやすく伝わっているかという点を重視して比べてみましょう。</p> <p>C：頭括型だと最初に自分の考えを言ってしまうので、意見の印象が、後半弱くなるかな。でも、このくらいの分量だったら大丈夫かな。</p> <p>C：双括型は、自分の考えがしっかり伝わるような気がする。</p> <p>C：尾括型も読み終わって、なるほど、そうかって思うな。</p> <p>②学習の振り返りをする。</p> <p>T：それぞれの文章構成の特徴と効果について学ぶことができましたね。今後、活用していきましょう。</p> | <p>★構成の効果を考えること。</p> <p>・自分が用いた型の確認をする。</p> <p>・まず、自分の文章を分析する。次に、ペア学習を行う。</p> <p>・自分の考え及び相手の理解が明確になっているかの観点で比較する。</p> | <p>◆構成の効果を考えている。<br/>(書く能力)<br/>[ワークシート・発言]</p> |

## 構成を考えよう

自分が選んだ構成の型

頭括型

名前

( )

| 話題提示                                                                                                                       | 自分の考え                                                                                                                                                      | 考えに対する補足                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>朝の登校時、あまりあいさつが多くなることが気になっています。〇〇小<br/>学校をよりよくするためには、あいさつがしっかりできるようになる<br/>ではないかと考えます。</p> <p>私は、どうしたらそうなるのか考えてみました。</p> | <p>毎朝、玄関に先生方が立って私たちを迎えてくださいます。みんな元気に先<br/>生とあいさつをしています。登校途中にはあいさつをしない子供も玄関ではあ<br/>いさつをしています。そこで、先生だけではなく、子供たちも立ってあいさつ<br/>をしたら、もっとあいさつが増えるのではないかと思います。</p> | <p>私たち高学年が、順番で毎日玄関に立ち、登校してくる〇〇小の人たちに<br/>あいさつをしたらどうでしょう。順番に立つことで、高学年の人たちからあい<br/>さつできるようになると思います。そうすると、朝だけではなく、校内でもあ<br/>いさつが増えるようになります。そして、中学年や低学年の人もあいさつを自<br/>然にできるようになるのではないかと思います。</p> |

## 構成を考えよう

自分が選んだ構成の型

双括型

名前

( )

| 話題提示                                                                                | 自分の考え①                                                                                                                  | 考えに対する補足①                                                                                                                                                                           | 考えに対する補足②                                                                                                                 | 自分の考え②                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>四月に校長先生が全校朝会で、<br/>「あいさつのあふれる学校にしましょう。」<br/>とおっしゃいました。私は、どうしたらそうなるのか考えてみました。</p> | <p>毎朝、玄関に先生方が立って私たちを迎えてくださいます。私たちは元気に<br/>あいさつをしています。そこで、校門に先生だけではなく、子供たちも立って<br/>あいさつをしたら、もっとあいさつが増えるのではないかと考えました。</p> | <p>私たち高学年が、順番で玄関に立ち、登校してくる〇〇小の人たちにあ<br/>いさつをします。順番に立つことで、高学年の人たちからあいさつできるよ<br/>うになると思います。そうすると、朝だけではなく、校内でもあいさつが増<br/>えるようになります。そして、中学年や低学年の人もあいさつを自然にでき<br/>るようになるのではないかと思います。</p> | <p>一方、朝校門に立つのはいやだという人がいるかもしれません。たしかに、<br/>朝早く学校に来るのはちょっと大変です。でも、あいさつが増えることがより<br/>みんなが学校で気持ちよく過ごせることができます。学校も明るくなります。</p> | <p>このように、あいさつが増えるとい、学校がよりよくなります。小さなことか<br/>ら実践してみることが学校をよりよくする一歩になります。玄関でのあいさつ<br/>運動を、私たち高学年が中心になってすすめていってほしいと思います。</p> |

構成を考えよう

自分が選んだ構成の型

尾括型

名前

| 話題提示                                                                 | 事 例                                                                                                       | 自分の考え                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 四月に校長先生が全校朝会で、<br>「あいさつのあふれる学校にしましょう。」<br>とおっしゃいました。どうしたらそうなるのでしょうか。 | 玄関に毎朝、先生方が立って私たちを迎えてくださいます。みんな元気に先生方にあいさつをしています。しかし、玄関では元気にあいさつはするものの、登下校の時や校内では、あまりあいさつが多くないのが〇〇〇小の現状です。 | あいさつのあふれる学校にするためには、私たち高学年が率先してあいさつをするようにしたいと思います。そうすると、低学年や中学年の人たちもするようになるのではないのでしょうか。担任の先生にうかがうと、先生方にも日直というのがあって、日直になった先生が朝、順番で玄関に立っていらっしゃいます。<br>もし、玄関に先生だけではなく、子供たちも立ってあいさつをしたら、きっともっとあいさつが増えるのではないかと考えました。<br>私たち高学年が、順番で玄関に立ち、登校してくる〇〇〇小の人たちにあいさつをするのです。順番に立つことで、高学年の人たちからあいさつできるようになると思います。そうなるべく、きっとあいさつのあふれる学校になるのではないかと思います。 |

## 第5学年 単元「筆者の考えを読み取り、自分の考えをもとう」

### 1 事例の概要

#### (1) 単元について

本教材は、「森は生きている」の中の第一章「日本は森の国です」を基に、書き下ろされたものである。よって、事例の挙げ方などの表現の工夫や文章全体の構成を捉えやすくなっている。児童は、表現の工夫に着目しながら、筆者の考えを読み取っていく力を身に付けることができるであろう。教材文を読み、題名の工夫について考えたり、筆者の意見の述べ方に注意して読み、筆者の意見を捉えたりすることから児童に課題を発見させ、課題を解決するために様々な図書資料で調べることをねらっていく。

#### (2) 発展的な学習について

教材文を読み、児童が、疑問に感じたりもっと詳しく知りたいと感じたりした事柄を手がかりとして、課題を設定させ、課題の解決を図る。そこで、①「森は生きている」を読み、筆者の考えを補強する、②環境問題に関する資料を選んで読み、筆者の考えを補強する、という二つの活動を発展的な学習として取り入れる。児童が設定した疑問点や追究したい点を解決するために、書き下ろし前の図書資料、多様な図書資料へと児童の読書範囲を広げ、児童が自分の考えの深まりを実感できるようにしたい。

### 2 指導計画の位置付け（ は発展的な学習に関わる時間）

単元「筆者の考えを読み取り、自分の考えをもとう」の指導計画の過程に位置付ける。

一次 教材文「森林のおくりもの」を読み、森林や環境に関心を持ち、学習計画を立てる。（2時間）

- ① 題名読みをする。初発の感想（疑問・もっと知りたいこと）を書く。
- ② 読みの課題を作る。学習計画を立てる。

二次 段落ごとに要点を読み取り、筆者の考えについて自分の考えをもつ。（5時間）

- ① 序論「日本人と木の暮らし」（1時間）
- ② 本論1「木材の利用」（1時間）
- ③ 本論2「森林の働き」（2時間）：発展的な学習の事例
- ④ 結論「かえがえのない遺産」（1時間）

### 3 目 標

- 図式化することを通して、「森林のおくりもの」「森は生きている」に書かれていることを正しく読み、筆者の考えに対する自分の考えをもつことができる。
- 読みの課題についての資料を収集し、整理することができる。

#### 4 学習活動の展開 ( は発展的な学習に関わる時間)

|     | ○学習内容・学習活動                                                               | 指導上の留意点<br>★指導事項                                                                                             | 資料等     | 評価[方法]                                                                 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------|
| 第一時 | ①題名読みをする。<br><br>②「森林のおくりもの」を読んで、疑問やもっと知りたくなったことを話し合う。                   | ・題名の「おくりもの」とは何かについて自由に話し合わせる。<br>・教材文を読んで、疑問に思った点を見直させたり、多様な環境問題と関連付けて考えさせたりする。<br>★森林や環境問題に関心をもち、問題意識をもつこと。 |         | ◆森林や環境の問題について関心をもち、問題意識をもって学習に取り組もうとしている。<br>(関心・意欲・態度)<br>[発言・ワークシート] |
| 第二時 | ①学習計画を立てる<br><br>②読みの課題をつくる。                                             | ・学習計画を表にまとめ、今後の学習の見通しをもたせる。<br>・特に関心をもったことについて調べさせる。<br>★単元全体を通した学習計画を立て、読みの課題を明らかにすること。                     |         | ◆森林や環境問題について関心をもち、読みの課題を作ろうとしている。<br>(関心・意欲・態度)<br>[発言・ワークシート]         |
| 第三時 | ①本文を読み、日本人の「木のくらし」をまとめる。<br>②本文を読み、様々な木材の性質と用途をまとめる。                     | ・日本とヨーロッパを対比させる。<br>・木材の性質を生かした利用の仕方を表にまとめさせる。<br>★木材の性質と使われ方を森林のおくりものとしてまとめること。                             | ワークシート① | ◆それぞれの木材について性質と性質を生かした使われ方を読み取っている。<br>(読む能力)<br>[発言・ワークシート]           |
| 第四時 | ①本文を読み、木が木材になっても生きていることや木が長生きであることを確かめる。<br>②本文を読み、木材そのものの以外の用途についてまとめる。 | ・木が生きていることを示す具体例を見付けさせる。<br><br>・紙や火の利用例を見付けさせる。<br>★木材そのものの以外の用途についてまとめること。                                 | ワークシート① | ◆木が切られても生きていることや木材そのものの以外の用途について読み取っている。<br>(読む能力)<br>[発言・ワークシート]      |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                        |                 |                                                               |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------|
| <p>第五時<br/>・第六時</p>         | <p>①前時までの学習を振り返る。</p> <p>②本文を読み、森林の別のおくりものがあることを確かめる。</p> <p>T：森林には大きな働きがあり、それが私達にもっと別のおくりものを届けているということですね。森林の働きを探っていきましょう。</p>                                                                                                                                               | <p>・森林のおくりものとしての「木」「紙」「火」を確認する。</p> <p>★「けれども、それらは…まだほんの一部にすぎません。」という文から、課題意識をもつこと。</p>                | <p>・ワークシート①</p> |                                                               |
| <p>森林の「別のおくりもの」について考えよう</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                        |                 |                                                               |
|                             | <p>③本文を読み、森林の別のおくりものを表にまとめる。(一人読み)</p> <p>T：筆者の問いかけが三つあります。探してみましょう。</p> <p>C：まず、川の水がなぜなくならないか、考えたことがありますかだと思います。</p> <p>C：二つめは、森林の土は、なぜ雨に流されてしまわないのでしょうかです。</p> <p>C：三つめは、どうして、毎年毎年同じようにお米を作り続けることができたのでしょうかです。</p> <p>T：これらの問い、具体例、答えに着目して読み、森林のおくりもの(森林の働き)を表にまとめましょう。</p> | <p>・教材文の筆者の問いかけとそれに対する答えに着目して読み、森林の働きを表にまとめていくことを確認する。</p> <p>★教材文に書かれている、森林の役割によるおくりものを正しく読み取ること。</p> |                 | <p>◆森林の特徴とそれによる森林の働きを捉え、表にまとめている。<br/>(読む能力)<br/>[ワークシート]</p> |
|                             | <p>④教材文以外の図書資料を読み、森林の別のおくりものを表に書き加える。(一人読み)</p> <p>T：教材文以外の本を読んで他にもおくりものがないか調べてみましょう。</p> <p>T：教材文のもとになっている『森は生きている』を読むA1コースか、別の筆者の書いた本を読むA2コースかを選びましょう。</p>                                                                                                                  | <p>・教材文に挙げられている森林の働き以外がないか調べ、表に書き加えることができるようにする。</p> <p>・必要に応じて、学習の手引きを活用することができるようになる。</p>            | <p>・ワークシート②</p> |                                                               |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>C：もっと筆者の考えを知りたいから<br/>A 1 コースを選ぼう。</p> <p>C：森林の大きな働きについて、もっと知りたいから、A 2 コースだ。<br/>〈A 1 と A 2 いずれかを選択する。〉</p> <p>A 1 「森は生きている」を読む。</p> <p>A 2 「環境問題とは何か」、「森林はなぜ必要か」「海外林が消える？」「ブナの森は緑のダム」を読む。</p> <p>⑤表を見せ合いながら、森林の別のおくりものについて話し合う。</p> <p>A 1：教材文と「森は生きている」を読んで得た情報について話し合う。</p> <p>C：森林は魚を養うんだ。</p> <p>C：どうのこと？</p> <p>C：それは、ここに書いてあったんだけど、四つ理由があるんだって。</p> <p>A 2：「環境問題とは何か」、「森林はなぜ必要か」「海岸林が消える？」「ブナの森は緑のダム」を読んで得た情報について話し合う。</p> <p>C：ブナの森は、豊かな水を生み出して、米作りをささえているんだって。</p> <p>C：教科書と同じようなことが書いてあったんだね。</p> | <p>★A 1→筆者の問いかけとそれに対する答えに着目して「森は生きている」を読み、いろいろな森林の働きを知り、筆者の考えを補強すること。</p> <p>★A 2→目次や小見出しなどを手がかりにして、森林の特徴とそれによる森林の働きに焦点を当てて読み、いろいろな森林の働きを知り、筆者の考えを補強すること。</p> <p>・筆者の考える森林の「別のおくりもの」について、思ったことや感じたことを話し合うことを確認する。</p> <p>★A 1→共通の図書資料を基に、互いに得た情報を交換し合うこと。</p> <p>・自分の書いた表に加筆したり、感じたことをワークシートにメモさせたりする。</p> <p>★A 2→それぞれの図書資料から得た情報を紹介し合いながら、森林の別のおくりものに関係付けて話し合う。</p> <p>・自分の書いた表に加筆したり、感じたことをワークシートにメモさせたりする。</p> | <p>◆教材文以外の図書資料からいろいろな森林の働きを読み取り、表に書き加えている。<br/>(読む能力)<br/>[ワークシート]</p> <p>◆図書資料から読み取ったことを話し合い、筆者の考えを補強している。<br/>(読む能力)<br/>[ワークシート・発言]</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|     |                                                                                |                                                                                                                  |         |                                                                                     |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>C：森林は文化を発展させるんだって。</p> <p>C：確かに、火、紙を生んだよね。他にもあるの？</p> <p>⑥本時の学習のまとめをする。</p> | <p>・各グループで交流した内容から、自分が思ったことや感じたことを話し合い、まとめることができるようにする。</p> <p>★自分の考えをワークシートにまとめること。</p>                         |         | <p>◆筆者の考えが分かり、それに対する自分の思ったことや感じたことを話したり、書いたりしている。</p> <p>(読む能力)<br/>[ワークシート・発言]</p> |
| 第七時 | <p>①本文を読み、筆者の考えをまとめる。</p> <p>②自分の考えをまとめる。</p>                                  | <p>・筆者の意図が分かるキーワードに着目できるようにする。</p> <p>・教材文以外の図書資料を通して考えたことも書き加えることができるようにする。</p> <p>★筆者の考えを読み取って、自分の考えをもつこと。</p> | ワークシート③ | <p>◆結論を読み、前時までに学習したことと関連付けて筆者の考えや自分の考えをまとめている。</p> <p>(読む能力)<br/>[ワークシート]</p>       |

## 参考図書資料

森は生きている（著者 富山和子／講談社 1994年）

森林はなぜ必要か（著者 只木良也／小峰書店 1992年）

ブナの森は緑のダム（文・写真 太田威／あかね書房 1988年）

海外林が消える？！（著者 近田文弘／大日本図書 2000年）

板書計画

森林の「別のおくりもの」について考えよう

★「森林のおくりもの」を読んで、森林の「別のおくりもの」を表にまとめよう。

| 別のおくりもの                                                                                               |                                                           |                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 土と養分を補う                                                                                               | 山崩れや水害から平野を守る                                             | 水が絶えない                                                                          |
| ○ 水田に引く水の中に土がふくまれる。<br>○ 森林の草や落ち葉が肥料に使われる。<br>○ 何年か一度の洪水で、水田のたくさん土をつぎたす。<br>↓ 毎年毎年同じように米を作り続けることができる。 | ○ 森林の木の根がしっかりと土をかかえて、しや面にはりつける。<br>○ 木の根は土の下にある岩石もだきかかえる。 | ○ 森林は雨を地下へ送り込み、やがて下流にはき出す。<br>↓ 地下水が湧き水になる。湧き水が谷川になる。<br>谷川が小さな川になる。やがて大きな川になる。 |

★ 別の図書資料を読んで、森林の「別のおくりもの」について調べてみよう。

A1コース

- ①「森は生きている」の森林のはたらきの章を読む。
- ②小見出し、筆者の問いかけに着目する。
- ③その問いかけの答えを探す。
- ④表にまとめる。

A2コース

- ①目次や小見出しを手がかりに、森林の特徴とその働きについて書いてある所を探す。
- ②森林の特徴とその働きについて書いてある所を読む。
- ③目には見えない別のおくりものを表にまとめる。

★調べたことを基に、話し合ってみよう。

A1コース

防風林という働きもあった。  
防雪林という働きもあった。  
気温調節の働きもあった。なぜ、調節できるのか、その仕組みを詳しく知りたくなった。  
空気や水をきれいにする仕組みを詳しく知りたい。  
こんなにおくりものがあるなんて。

A2コース

水資源の供給について詳しく書いてあった。  
17種の保安林がある。色々な森林の役割を知った。  
「森林のおくりもの」に書いてあることを同じことが書いてあった。  
他の筆者も、同じようなことを言っていた。

筆者の考えを読み取り、自分の考えをもとう

【学習計画】

五年組

| 時<br>月／日（ ）     | 一                                                  | 二                          | 三                                    | 四                                         | 五                                                   | 六                                                      | 七                                      | 八                                                         | 九・十                                        | 十・十一 |
|-----------------|----------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|
| （ ）             | （ ）                                                | （ ）                        | （ ）                                  | （ ）                                       | （ ）                                                 | （ ）                                                    | （ ）                                    | （ ）                                                       | （ ）                                        | （ ）  |
| 学習活動            | ○ 題名読みをする。<br>○ 「森林のおくりもの」を読んで、疑問やもつと知りたくなったことを書く。 | ○ 学習計画を立てる。<br>○ 読みの課題を作る。 | ○ 日本人と木のくらしについて読み取り、木材の性質と使われ方をまとめる。 | ○ 木が木材になつても生きていることや、木材そのものの以外の用途についてまとめる。 | ○ 森林の別のおくりものとは何かを教材文から読み取る。<br>○ 筆者の考えに対する自分の考えをもつ。 | ○ 森林の別のおくりものとは何かを別の図書資料から読み取る。<br>○ 筆者の考えに対する自分の考えをもつ。 | ○ 結論を読み、筆者の考えをまとめ、読みの課題に対する自分なりの答えを書く。 | ○ 解決できなかつたことを調べるため図書資料を探す。<br>○ いろいろな図書資料を調べて、必要なことをメモする。 | ○ ブックガイドを作る。<br>○ ブックリストを活用し合い、読みの課題を解決する。 |      |
| 学習を振り返って（自分の考え） |                                                    |                            |                                      |                                           |                                                     |                                                        |                                        |                                                           |                                            |      |

筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめよう

★「森林のおくりもの」  
五年組

| 別のおくりもの                                                                                                |                                                           |                                                                             | はっきり目に見えるおくりもの                                           |                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 土と養分を補う                                                                                                | 山崩れや水害から平野を守る                                             | 水が絶えない                                                                      | 火                                                        | 紙                                                            | 木材                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ○○○<br>水田に引く水の中に土がふくまれる。<br>森林の草や落ち葉が肥料に使われる。<br>何年か一度の洪水で、水田のたくさんの土をつぎたす。<br>↓毎年毎年同じように米を作り続けることができる。 | ○○<br>森林の木がしっかりと土をかかえて、しゃ面にはりつける。<br>木の根は土の下にある岩石もだきかかえる。 | ○<br>森林は雨を地下へ送り込み、やがて下流にはき出す。<br>↓地下水が湧き水になる。<br>谷川が小さな川になる。<br>やがて大きな川になる。 | ○<br>まきや炭としての利用<br>↓湯をわかす・食事をする・寒い冬を過ごす・鉄を使う・焼き物を焼く・塩を作る | ○<br>加工され、髪になる。<br>↓ちり紙・物をつつむ・文字を記すため、人にものを伝えるための新聞や本やノート・お礼 | ○<br>日本にはいたる所、すぐれた木材あり。<br>↓木の暮らしを築いていた。(木の家・木の道具・木の端・木のはし、おわん、おぼん、しゃもじ・ふるおけ・鉄道のまくら木)<br>○<br>スギはまっすぐ育つ。軽くて丈夫。素直に割れる。<br>↓柱、天じょう、ゆか、船、酒だる、おけ、げた<br>○<br>ヒノキは虫がつきにくい。くさりにくい。雨風に負けない。<br>↓立派な建物<br>○<br>ケヤキは木目が美しい。硬い。<br>↓大黒柱・たんす・机・きね・うす・荷車や水車のしん棒<br>○<br>カラマツや松は水に強い。<br>↓水車、端、船<br>○<br>キリは軽い、肌触りよい。燃えにくい。<br>↓おこし・上等なげた・たんす・金庫の中<br>○<br>木は木材になっても呼吸をしている。長生き。<br>↓たんすの中の着物は外の湿った空気から守られている。垂木は二千年以上生き続ける。 |

筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめよう

◎森林の別のおくりものについて調べよう。  
A1「コース」  
五年組

- ①「森は生きている」の森林のはたらきの章を読む。
  - ②小見出し、筆者の問いかけに着目する。
  - ③その問いかけの答えを探す。
  - ④表にまとめる。
- A2「コース」
- ①目次や小見出しを手がかりに、森林の特徴とその働きについて書いてある所を探す。
  - ②森林の特徴とその働きについて書いてある所を読む。
  - ③目には見えない別のおくりものを表にまとめる。

★本の題名「森林はなぜ必要か」

| 別のおくりもの                                                                                                                                                                                                      |                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 都市環境を守る                                                                                                                                                                                                      | 保安林                                                                       | 自然災害を防ぐ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 水資源                                                            |
| ○気候をやわらげる。<br>↓温度変化が小さい。湿度が高い。<br>○騒音を防ぐ。<br>↓森林内は騒音を出すものがない。森林が障害物になって音が伝わるのをさまたげ、また、音を吸い取る。<br>○火災が広がるのを防ぐ。<br>↓水をたくさんふくんだ葉を持つ木は燃えにくい。屋敷の回りに木を植えて火災から守る。木に囲まれた広場を作ること、人々の避難所を作る。<br>○汚染空気を綺麗にする。環境悪化を知らせる。 | ○我が国の保安林は十七種。全森林の三割以上。<br>↓水源かん養保安林 土砂流出防備保安林 落石防止保安林 航行目標保安林 保健保安林 風致保安林 | ○洪水・水枯れ・浸食をふせぐ。<br>↓森林の土は直接雨にたたかれないので、土の構造がこわれない。<br>よく水がしみこむので、地表を流れる水が少なく、流れの速度を遅くする。<br>○地表の侵食を防がれる。<br>○山崩れを防ぐ。<br>↓土の中ははりめぐらされた木の根が、土に網をかけたように土や石を抱きかかえ、土に割れ目ができないようにする。<br>○風を防ぐ。<br>↓風が弱まり、土が飛ばされず、気温や地温が低くならず、土の水が失われない。<br>○霧の害を防ぐ。<br>↓霧の動くのを邪魔する。農作物の収穫量が増す。<br>○吹雪やなだれを防ぐ。<br>↓吹雪の勢いを弱める。森林の中に雪を積もらせ、鉄道や道路に積もる雪を少なくする。森林の木が斜面に積もった雪に、雪を打ったように働いて、雪が動き出すのを妨げる。 | ○森林は洪水も水不足も起こさず、いつも絶え間なく水を流し続ける。<br>↓雨水は森林のやわらかい土にしみこみ、地下水になる。 |

筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめよう

五年 組

◎森林の別のおくりものについて調べよう。

A1「コース

①「森は生きとしるがため」読む。

②筆者の問いかけに着目する。

③その問いかけの答えを探す。

④表にまとめる。

A2「コース

④目次や小見出しを手がかりに、森林の特徴とその働きについて書いてある所を探す。

⑤森林の特徴とその働きについて書いてある所を読む。

⑥目には見えない別のおくりものを表にまとめる。

★本の題名「森は生きとしるがため」

森林のおくりもの

| 海岸林                                                                                       | 空気水                                   | 防音                              | 防火                                                                   | 気温調節                                                | 防雪林                                                              | 防風林                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○海岸林は国土を作り出した。<br>砂や風や波や塩の被害から土地を守るために人々は木を植えていった。<br>人の住めなかった場所に、道路、町、畑、港ができた。森林に守られている。 | ○森林は空気をきれいにする。<br>○森林の土をくぐってきた水の味は違う。 | ○森林は騒音を防ぐ。自動車の音も森の中ではるか遠くに聞こえる。 | ○森林のある所は火事するとき、火が回らなかった。<br>○タブの木は燃えにくい木<br>↓風上にあつたことで、木造の家を火事から守った。 | ○暑さ寒さをやわらげる。<br>↓木陰ですずむ。霜の被害を防ぐ。<br>○昼と夜の温度差もやわらげる。 | ○線路に沿って森林が続いている。<br>↓吹雪から線路を守る。<br>○山の斜面の雪がすべり落ちるのを食い止める。なだれを防ぐ。 | ○やしきのまわりに森林をめぐらす。<br>↓家や農地を風から守る。その木を木材として使う。落ち葉を肥料にする。<br>洪水の勢いを弱める。土砂をせきとめる。<br>お米やトウモロコシやジャガイモを冷たい季節風から守る。 |

筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめよう

五年 組

交流メモ

筆者の考え

私達は、森林のお世話になり続けてきた。私達は木材として、紙として、燃料として利用してきた。また、絶え間なく水の供給をうけ、山崩れや水害を防いでもらい、豊かな土壌の供給を受け、毎年毎年、米を実らせることができた。この森林は、先祖たちが受けついできたかけがえのない遺産なのだ。今でも、山村の人々は森林を守り続けている。海岸でも植林が続けられている。

私達は、緑豊かな国土に生まれたことに感謝しなければならない。そして、森林を育てる仕事の素晴らしさと尊さを考えなければならない。

自分の考え

森林には、たくさんのおくりものがあることを知った。目にはつきりと見えるものだけでもたくさんあり、私達の暮らしを支えてくれている。また、様々な森林の特徴が様々な働きをし、私達の生活を守っていることも知った。水資源、防災、環境を守る、国土を作る…。実に様々だ。まさか、これほどの恩恵を受けているとは思わなかった。

また、森林が先祖からのかけがえのないおくりものだなんて考えもしなかった。森林は、たくさんの人々の苦労や工夫によって守られてきたのだ。

私達は、これらの事実に感謝し、森林を守っていく努力をしなければならぬと感じた。そのためには、森林の仕組み、働き、森林を守る人々について、もう少し詳しく調べたい。

## 第6学年 単元「作品の世界をより深く読み味わおう」（読むこと）

教材「やまなし」 〈資料：イーハトーヴの夢〉（光村図書6年）  
「永訣の朝」 「グスコーブドリの伝記」

### 1 事例の概要（7時間扱い）

#### (1) 単元について

本単元は、教科教材となっている宮沢賢治の作品「やまなし」と〈資料〉「イーハトーヴの夢」に加え、「永訣の朝」や「グスコーブドリの伝記」から共通する描写や叙述に着目しながら読み比べることで、より深く宮沢賢治の価値観を理解し、より深く自分の生き方を見つめることをねらいとしている。

宮沢賢治の深い思想性をもつ作品であると言われている「やまなし」は、「五月」と「十二月」の二枚の幻灯から構成されている。比喩表現や擬声語、擬態語、美しい言葉のリズムを手がかりに、二枚の幻灯を読み比べることにより、「五月」の「かわせみ」がもたらす「春の輝く太陽の中でめまぐるしく展開されていく生命の奪い合い、いつ襲いかかるか知れない死」、「十二月」の「やまなし」がもたらす「万物が枯渇し死に絶えたかと思われる厳しい冬の中にもたらされる生きる喜びや次の生命の芽生え」に迫る。また、これらを児童の言葉でまとめさせることにより、本教材の題名が「やまなし」であることの意味について考えさせたい。

#### (2) 発展的な学習について

発展的な内容としては、「永訣の朝」や「グスコーブドリの伝記」など、「やまなし」と似通った宮沢賢治の複数の作品や文章を重ねて読ませることを通して、宮沢賢治の理想や価値観をとらえ、児童が自分の生き方を見つめることを取り上げる。「やまなし」に加え、「永訣の朝」、「グスコーブドリの伝記」を重ねて読み、〈資料〉「イーハトーヴの夢」に触れることで、より深く賢治の生い立ちや人柄、理想、考え方を知り、児童自身の生き方について、自分なりの考えをもたせたいと考える。

### 2 指導計画の位置付け（ は発展的な学習に関わる時間）

- (1) 「作者の考え方や生き方と重ねて作品を豊かに読む」ことを学習課題に設定し、学習計画を立てる。（2時間）
- (2) 教材文「やまなし」を読み、「五月」と「十二月」の情景を読み比べる。  
作者が「やまなし」という題名を付けた理由を考える。（2時間）

- (3) 〈資料〉「イーハトーヴの夢」などを重ねて読み、賢治の生き方や考え方について考えたことを話し合う。（3時間）

Aコース 〈資料〉「イーハトーヴの夢」、「永訣の朝」・「グスコーブドリの伝記」を読み、「やまなし」で読み取ったことと関連付け、賢治の考え方や生き方について考えたことを話し合う。：発展的な学習の事例

Bコース 〈資料〉「イーハトーヴの夢」を読み、「やまなし」で読み取ったことと関連付け、賢治の考え方や生き方について考えたことを話し合う。

### 3 目 標

- 「やまなし」に描かれた情景を叙述に即して想像しながら読むことができる。
- 〈資料〉「イーハトーヴの夢」を読み、作者の考え方や生き方について自分の考えをもつことができる。
- 比喩的な表現を手がかりにして、情景を想像することができる。

### 4 学習活動の展開 (   は発展的な学習に関わる時間)

|       | ○学習内容・学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                        | 指導上の留意点<br>★指導事項                                                                                                                                | 資料等                                            | 評価[方法]                                                                                  |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 第一時   | <p>①情景を表す言葉や場面ごとの出来事に着目しながら『やまなし』の全文を読み、感想をもつ。</p> <p>T：情景を表す言葉や場面の出来事に気を付けて読みましょう。</p> <p>T：どんな感想をもちましたか。</p> <p>C：とてもふしぎな感じがしました。</p> <p>C：出来事はとっても少ないなと感じました。</p>                                                                                                              | <p>★『やまなし』の情景や言葉の使い方に興味をもち、感想をもつこと。</p> <p>・作品の構成や特徴について気付くことができるよう、「表現について」「主題や題名について」「五月と十二月について」などの観点を板書しておく。</p>                            | <p>・感想用学習シート〈学習シート1〉</p>                       | <p>◆情景を表す言葉や出来事に着目しながら読み、自分なりの感想をもっている。</p> <p>(読む能力)</p> <p>[学習シート1]</p>               |
| 第二時   | <p>①学習課題を考え、学習計画を立てる。</p> <p>【学習課題】</p> <p>『やまなし』をはじめ、様々な作品に込められた宮沢賢治の思いや願いを考えよう。</p> <p>②読みの視点を知り、読み取り方を確かめる。</p> <p>＜読みの視点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷川の様子</li> <li>・出来事</li> <li>・カニの兄弟のやり取り</li> </ul>                                                     | <p>★学習課題を考え、学習の見通しをもつこと。</p> <p>・「五月」と「十二月」に共通しているもの、対比して配置されているものなどを確かめ、読みの視点『谷川の様子、出来事、かにの兄弟(親子)』を明らかにする。</p> <p>・学習計画表を作成し、学習の見通しを立てさせる。</p> | <p>・読みの視点短冊</p> <p>・学習計画表</p>                  | <p>◆学習課題を考え、学習の見通しを立てている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>[学習計画表]</p>                          |
| 第三・四時 | <p>①「五月」の谷川の情景を比喩表現や擬声語、擬態語、リズムに着目して想像しながら読む。</p> <p>②「十二月」の谷川の情景を比喩表現や擬声語、擬態語、リズムに着目して想像しながら読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習の流れ】</p> <p>音読</p> <p>↓</p> <p>サイドライン・書き込み</p> <p>↓</p> <p>話合い</p> <p>↓</p> <p>読みまとめ</p> </div> | <p>★課題や読みの視点に沿って「五月」と「十二月」の二枚の幻灯それぞれを想像しながら読むこと。</p> <p>・谷川の情景描写や比喩表現、かわせみややまなしの出現で変化していくかにの兄弟の様子に着目させる。</p> <p>・読み取った内容について「対比表」にそれぞれまとめる。</p> | <p>・書き込み用学習シート〈学習シート2〉</p> <p>・対比表(学習シート3)</p> | <p>◆課題や読みの視点に沿って「五月」と「十二月」の二枚の幻灯それぞれを想像しながら読んでいる。</p> <p>(読む能力)</p> <p>[発言・学習シート23]</p> |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                             |                                            |                                                                                                      |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第五時       | <p>①「五月」と「十二月」を比べる。</p> <p>・五月の世界、十二月の世界のイメージを話し合う。</p> <p>○「かわせみ」と「やまなし」の意味や役割について考え、話し合う。</p> <p>T：グループで話し合い、かわせみとやまなしの意味や役割を明らかにしましょう。</p> <p>&lt;かわせみ&gt;</p> <p>・生きる厳しさや恐怖</p> <p>&lt;やまなし&gt;</p> <p>・生きる希望や幸せ</p> <p>○題名『やまなし』について考え、発表する。</p> <p>T：なぜ題名を「やまなし」としたのか考えてみましょう。</p> <p>C：筆者は生きる希望や幸せを読み手に感じてほしかったのではないか。</p> | <p>★「五月」と「十二月」を対比して読み、共通点や違いについて考えを交流しながら自分の考えをもつこと。</p> <p>・「かわせみ」は生きる厳しさや恐怖を与え、「やまなし」は生きる希望や幸せをもたらしたことを児童の発言を生かして整理する。</p> <p>・「かわせみ」と「やまなし」は対比できる関係であるのに、なぜ「やまなし」という題名が付いたのかについて考える。</p> | <p>・対比表（学習シート3）</p> <p>・題名用シート（学習シート4）</p> | <p>◆「五月」と「十二月」のイメージを対比し、想像している。（読む能力）</p> <p>◆題名「やまなし」について自分の考えをまとめている。（読む能力）</p> <p>[発言・学習シート4]</p> |
| 第六時       | <p>①&lt;資料&gt;「イーハトーヴの夢」を読み、作者の生い立ちや考え方を理解し、賢治の考え方や生き方に感想をもつ。</p> <p>T：「イーハトーヴの夢」を読み、検事の生き方を知りましょう。</p> <p>C：（年表を作る）</p> <p>T：賢治の生き方について、どのような感想をもちましたか。</p> <p>C：人の幸せを願っていた人なのだと思います。</p>                                                                                                                                        | <p>★&lt;資料&gt;「イーハトーヴの夢」を読み、賢治の生きてきた時代の状況、賢治の考え方や行動、賢治の理想などを読み取ること。</p> <p>★書かれている内容について、自分の考えをもちながら読むこと。</p> <p>・賢治の生き方や考え方、理想などを表す言葉を年表に書き入れ掲示できるようにする。</p>                               | <p>・生いたち年表</p>                             | <p>◆&lt;資料&gt;「イーハトーヴの夢」から賢治の生き方や考え方に感想をもっている。（読む能力）</p> <p>[発言・生いたち年表]</p>                          |
| 第七時（Aコース） | <p>「永訣の朝」「グスコブドリの伝記」を読み、賢治の考え方や理想、人柄を考える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                             |                                            |                                                                                                      |
|           | <p>①本時のめあてと学習活動を確認する。主題を考える。</p> <p>T：今日の学習課題を確かめます。</p> <p>②「永訣の朝」を読み、内容を理解する。</p> <p>T：「永訣の朝」の内容をみんなで読み取りましょう。</p> <p>T：それぞれの叙述（言葉）からどんな感想をもちましたか。また、賢治はどのような人だと思いましたか。</p> <p>C：「わたしをいっしょうあかるくする」から、本当は辛くて悲しいけれど、妹のためにしてやれることを喜んでいと思う。</p> <p>C：「わたくしもまっすぐにすすんでいくから」は、とし子の分も一生懸命に生きていこうとする決意だと思う。</p>                          | <p>★「グスコブドリの伝記」や「永訣の朝」について内容を読み取り、感想をもつこと。</p> <p>★「グスコブドリの伝記」や「永訣の朝」の感想から、賢治の理想や生き方、人柄を考えること。</p> <p>・叙述に基づく感想だけでなく、賢治の生き方や人柄について考えたことを引き出す。</p>                                           | <p>・「永訣の朝」全文掲示</p>                         |                                                                                                      |

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                   |                                                                                                                      |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  | <p>C:「わたくしもまっすぐにすすんでいくから」は、とし子の分も一生懸命に生きていこうとする決意だと思う。</p> <p>C:「天上のアイスクリームとなって～わたくしのすべてのさいはひをかけてねがふ」は妹もそのまわりにいる人にも幸せが訪れるようにと思っているのだろう。周りの人の幸せを考えられる人。</p> <p>③「グスコーブドリの伝記」の伝記を読んだことについて交流する。</p> <p>T:「グスコーブドリの伝記」を読んで、賢治の理想や考え方を話し合おう。</p> <p>C:賢治の生いたちの状況と似ていると思った。</p> <p>C:イーハトーヴは賢治の理想の世界だったけれど、そのまちを賢治は本当に大切にしていたのだと思った。</p> <p>C:ブドリが最後に命をかけて冷害を食い止めようとしていた。みんなのために自分の命を捧げるすごい人だと思った。</p> <p>C:賢治はブドリと自分の理想を重ねていたのではないと思う。</p> <p>C:「やまなし」が谷川に落ちてかにの親子の栄養になったことと似ている。</p> <p>C:やっぱり人の役に立つ生き方をしたかったのだと思う。</p> <p>④学習感想をまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示した全文に感想を書き込み、児童の考えを整理していく。</li> <li>・＜資料＞「イーハトーヴの夢」でまとめたことと関連付けて整理する。</li> <li>・「グスコーブドリの伝記」は長文のため、事前に読ませておく。</li> <li>・あらすじをまとめたものを掲示し、簡単に振り返る。</li> <li>・掲示したあらすじに感想を書き込み、児童の考えを整理する。</li> <li>・＜資料＞「イーハトーヴの夢」でまとめたことと関連付けて整理する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グスコーブドリの伝記あらすじ</li> <li>・学習計画表</li> </ul>                                                                                 | <p>◆「永訣の朝」や「グスコーブドリの伝記」を読み、賢治の考え方や生き方、人柄などについて感想をもっている。</p> <p>(読む能力)</p> <p>[発言・学習計画表]</p>                          |
| <p>第八時（Aコース）</p> | <p>宮沢賢治の思いや願い、その生き方や考え方について自分の考えをまとめよう。</p> <p>①本時のめあてと学習活動を確認する。<br/>T:今日の学習課題を確かめます。</p> <p>②『やまなし』で学習したことを振り返る。<br/>T:『やまなし』という題名について話し合ったことを振り返りましょう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>★『やまなし』に込めた宮沢賢治の思いや願い、他の作品や年表などの資料から読み取った賢治の生き方や考え方や理想などを基に、賢治の生き方や考え方について自分の考えをまとめること。</li> <li>・「五月」と「十二月」の対比表を簡単に振り返り、「やまなし」という題名について話し合ったことを想起させる。</li> </ul>                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対比表</li> <li>・生いたち年表</li> <li>・「永訣の朝」全文掲示</li> <li>・グスコーブドリの伝記あらすじ</li> <li>・生き方考え方シート（学習シート5）</li> <li>・学習計画表</li> </ul> | <p>◆『やまなし』に込めた作者の思いや願い、資料から読みとった作者の人柄や考え方や理想などを基に、作者の生き方や考え方について自分なりに考えたことをまとめている。</p> <p>(読む能力)</p> <p>[学習シート5]</p> |

第八時（Aコース）

C：「やまなし」はかのに親子の命の源だった。  
 C：死と反対にある「生きる」ことへの希望を表していた。  
 C：賢治は「やまなし」にあった平和や希望や豊かさを題にした。  
 ③『イーハトーヴの夢』から読み取ったことを振り返る。  
 T：資料から考えた、賢治の生き方や考え方、理想を振り返りましょう。  
 C：人の役に立つことを大切にした。  
 C：人のために生きようとした。  
 C：植物や動物、人間などみんなが共存できる世界を理想とした。  
 C：みんなの幸せを大切にした。  
 ④『永訣の朝』と『グスコーブドリの伝記』から考えた賢治の考え方や理想を振り返る。  
 T：永訣の朝やグスコーブドリの伝記から、賢治のどのような考え方や生き方・理想を読み取りましたか？  
 C：人の役に立つことを喜びと感ずることを感じた。  
 C：人のために生きることに関値を感じていた。  
 C：生きている人も亡くなった人もたくさんの方が幸せであることを願っていた。  
 C：自分が生きていくことに感謝していた。  
 ⑤宮沢賢治の生き方や考え方に触れながら感想を書く。  
 （４００字程度）  
 T：では、これまで読み取ってきたことをもとに、賢治の生き方や考え方、理想について自分の考えをまとめましょう。  
 C：学習シートにまとめる。

～まとめ方※四段落～

- 1 「やまなし」を読んで
- 2 「イーハトーヴの夢」を読んで
- 3 「グスコーブドリの伝記」を読んで
- 3 「永訣の朝」を読んで
- 4 賢治の生き方考え方・理想

～書き出しの例～

- やまなしを読んで、・・・
- イーハトーヴの夢では、
- 賢治の作品、
- 「           」からは（では）
- 賢治という人は、・・・
- 賢治の理想は、・・・

T：みなさんが考えたことを発表し合ひましょう。  
 C：感想を読む。  
 ⑥本時の学習を振り返る。

- ・賢治の生い立ち年表を掲示し、賢治の考え方や理想、生き方を振り返ることができるようにする。
- ・「永訣の朝」全文の拡大や「グスコーブドリの伝記」のあらすじに書き込んだ感想を掲示し、振り返ることができるようにする。
- ◎賢治の生き方や考え方を考えながら自分の考えをまとめること。
- ・賢治の生き方や考え方と向き合うことができるよう、『やまなし』を読んで、『イーハトーヴの夢』を読んで、『グスコーブドリの伝記』や『永訣の朝』を読んで、「賢治の作品や資料」から、その生き方や考え方、理想について考えたこと」の四段落で感想を書くよう助言する。
- ・特に「賢治の生き方、考え方、理想について思ったこと」を中心に書くよう助言する。
- ・「書き出しの例」を紹介する。
- ・早く書き終わった児童同士が個別に交流し、付箋にて共感的に感想を書くよう、伝える。
- ◎自分と友達の考えとを比べながら話し合うこと。
- ・全体の感想の傾向や視点を板書し、一つの視点から関連付けて話をつなげていくことができるよう、配慮する。
- ・最終的に様々な視点から、賢治の生き方や考え方について、考えを広げる。

やまなし

## 學習課題

□單元名、リード文、教材名、手引きを読み、学習内容について話し合う。  
□『やまなし』の全文を読んで感想をもつ。

□ 学習課題を作り、学習計画を立てる。

□「五月」の世界を読む。

□ 「十二月」の世界を読む。

□「五月」と「十二月」の世界を比べる。

□題名『やまなし』について考える。

□資料「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生いたちや考え方、理想などを知る。

□「グスコープドリの伝記」や「永訣の朝」を読み、宮沢賢治の考え方や理想、人柄を考える。

□宮沢賢治の思いや願い、その生き方や考え方について考える。

## 学习内容

学習を振り返って

◎表現を味わい、豊かに想像しよう。

氏名

宮沢賢治作

情景を想像しながら『やまなし』を読み、感想をまとめよう。

☆心に残ったことや考えたいこと、不思議だなと思ったことなどを感想に書こう。

(例・表現について・主題や題名について・五月と十二月について)

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features ten horizontal rows. Each row consists of three parallel lines: a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line. The rows are evenly spaced across the entire page, providing a template for handwriting practice. There are no margins, text, or other markings on the paper.

☆文章構成を整理しよう。

☆宮沢賢治について知っていることがあれば書こう。

小さな谷川の底を写した、二枚の青い幻灯です。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

私の幻灯は、これでおしまいです。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

「五月」と「十二月」の二枚の幻灯を比べよう。

小さな谷川の底を写した、二枚の青い幻灯です。

| 視点    | 「五月」 | 「十二月」 |
|-------|------|-------|
| 谷川の様子 |      |       |
| かにの兄弟 |      |       |
| 出来事   |      |       |
| かにの親子 |      |       |
| 谷川の様子 |      |       |

【かわせみ】

【やまなし】

【五月の世界】

【十二月の世界】

私の幻灯は、これでおしまいです。

「五月」と「十二月」の世界を比べよう。

☆読みの視点☆ 谷川の様子・出来事・かにの兄弟（親子）の様子  
比べる視点

| 谷川の様子 | 出来事 | かにの兄弟（親子） | 終わり方 |
|-------|-----|-----------|------|
| 「五月」  |     |           |      |
| 「十二月」 |     |           |      |

【かわせみ】

【やまなし】

【五月の世界】

【十二月の世界】

■学習シート四■

氏 名

題名『やまなし』について考えよう。

一 作者が伝えたかったことは何だろう。

※次の三段落でまとめてみよう。

一 五月の幻灯について

二 十二月の幻灯について

三 作者の伝えたかったこと

★書き出しの例★

・五月の幻灯では、

・十二月の幻灯では、

・この二つの幻灯から、

二 題名が『やまなし』であることについて考えよう。

■学習シート五■

氏 名

宮沢賢治の思いや願い、その生き方や考え方について、自分の考えをまとめてみよう。

◎ 「やまなし」「イーハトーヴの夢」「グスコープドリの伝記」や「永訣の朝」で読み取ったことを重ね合わせ、次の四段落でまとめてみよう。

一 「やまなし」を読んで心に強く思ったこと

二 「イーハトーヴの夢」を読んで、心に強く思ったこと

三 「グスコープドリの伝記」や「永訣の朝」を読んで、心に強く思ったこと

四 賢治の作品や資料から、その生き方や考え方、理想について考えたこと

宮沢賢治の思いや願い、その生き方や考え方について自分の考えをまとめよう。

・命の源 ・生きることへの希望  
・平和 ・喜び ・豊かさ

- ・ 人の役に立つ
- ・ 人のために生きる

- 植物、動物、人間の共存
- みんなの幸せ

- ・ 人のために生きること、価値
- ・ 生きている人も亡くなった人も幸せであることを願った
- ・ 自分が生きていることに感謝

一 やまなしを読んで、  
・  
・  
・

二 イーハトーヴの夢では、  
・  
・  
・

三 賢治の作品「  
」からは（では、

四 賢治という人は、  
・  
・  
・

五 賢治の理想は、  
・  
・  
・

— 51 —

「五月」と「十二月」の二枚の幻灯を比べよう。

小さな谷川の底を写した二枚の青い幻灯です。

| 谷川の様子                                                                                                        | かのにの親子                                                                                                        | 出来事                                                                                                           | かのにの兄弟                                                                                                        | 谷川の様子                                                                                                         | 視点                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>五月</p> <p>川底は、青い。</p> <p>水面は、静か。</p> <p>水底には、石や砂が散らばっている。</p> <p>水底には、水草が生えている。</p> <p>水底には、小魚が泳いでいる。</p> | <p>五月</p> <p>かのにの親子は、谷川で遊んでいる。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> | <p>五月</p> <p>かのにの親子は、谷川で遊んでいる。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> | <p>五月</p> <p>かのにの兄弟は、谷川で遊んでいる。</p> <p>かのにの兄弟は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの兄弟は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの兄弟は、水遊びをしている。</p> | <p>十二月</p> <p>川底は、白い。</p> <p>水面は、静か。</p> <p>水底には、石や砂が散らばっている。</p> <p>水底には、水草が生えている。</p> <p>水底には、小魚が泳いでいる。</p> | <p>十二月</p> <p>かのにの親子は、谷川で遊んでいる。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> <p>かのにの親子は、水遊びをしている。</p> |

私のお手紙は、これでおしまいであります。

「五月」と「十二月」の二枚の幻灯を比べよう。

小さな谷川の底を写した二枚の青い幻灯です。

[illegible]